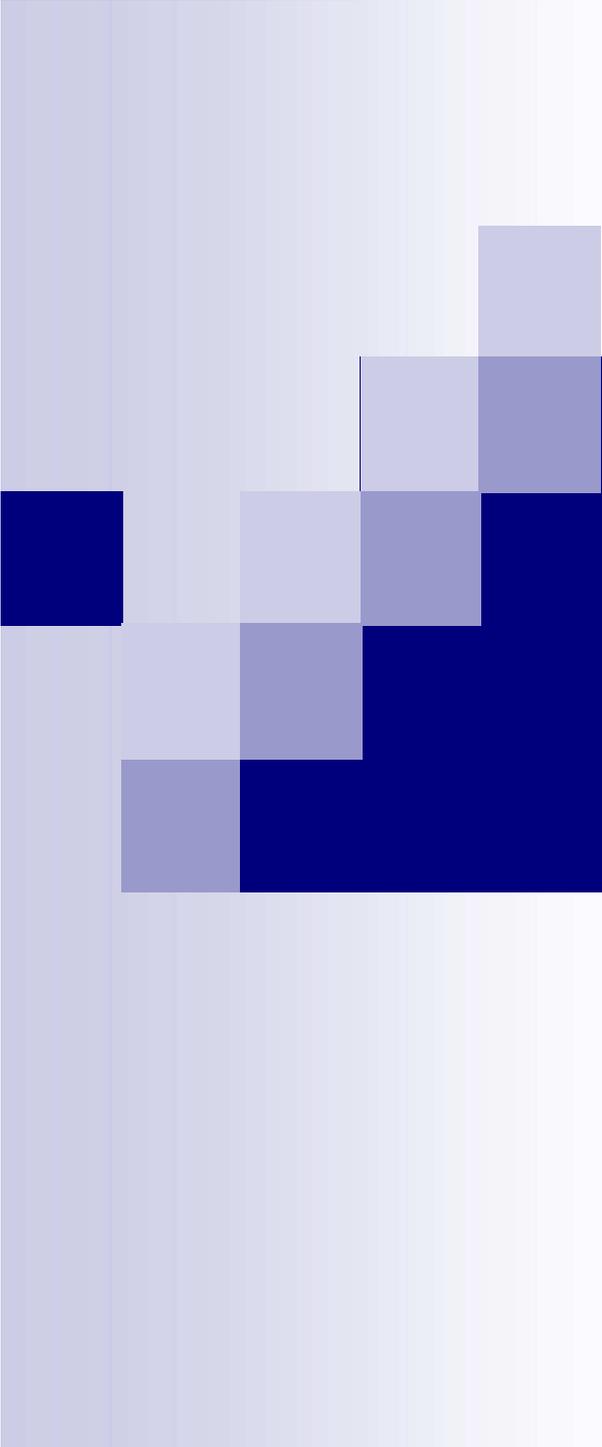


ミクロとマクロのキャッ  
チボール  
実践編



皮膚病理を知らずして  
診断力の向上はあり得ない。

臨床像と病理所見は表裏一体

# 基本となる発疹と その組織所見

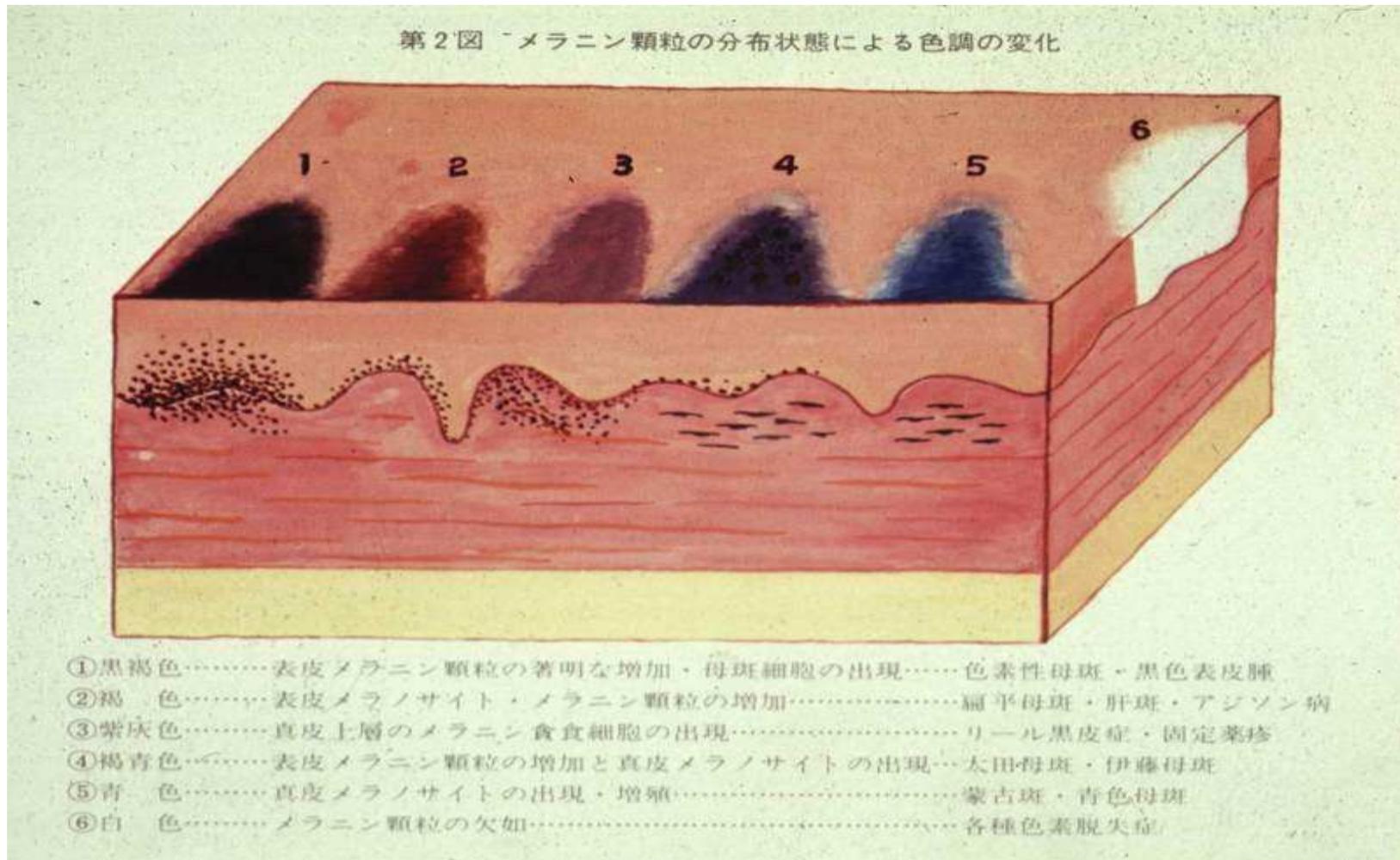
マクロとミクロを対比して  
肉眼的所見から病理所見を  
類推する力を養う

# 斑

色調を主体とし、皮膚面より隆起しない皮膚病変

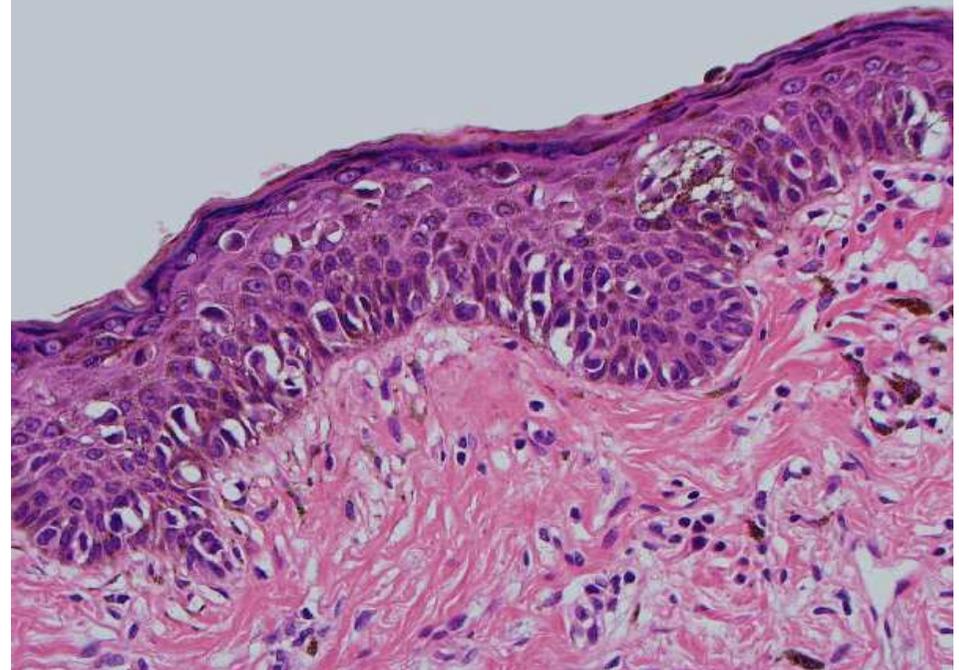
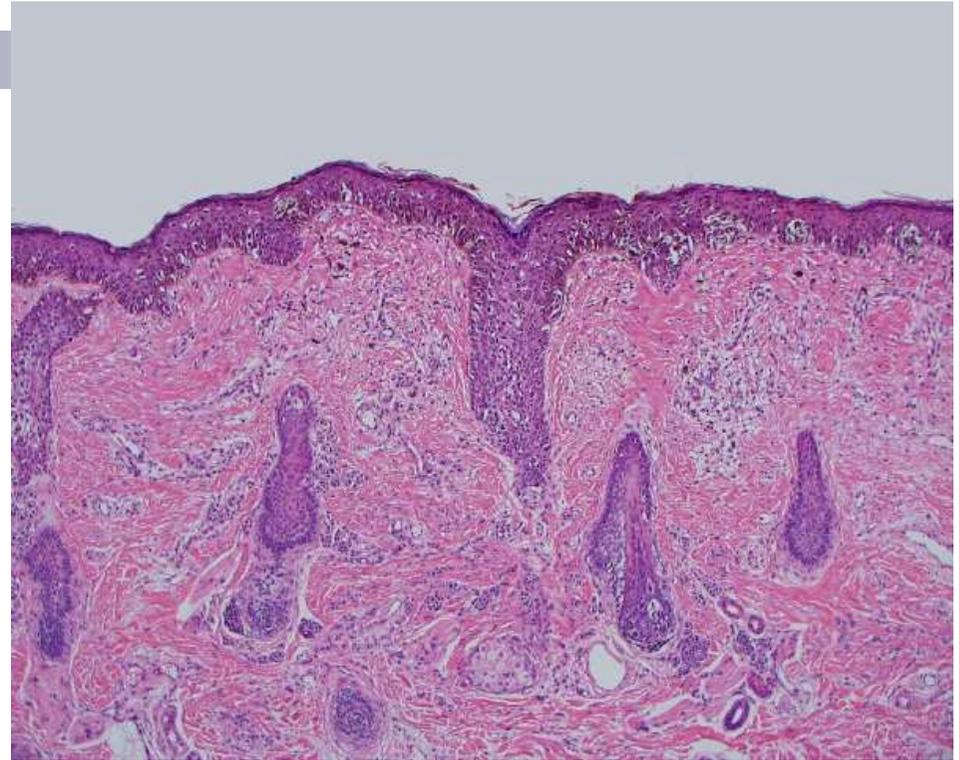
したがって、色で分類するとわかり易い

# メラニン顆粒の分布による色調の変化



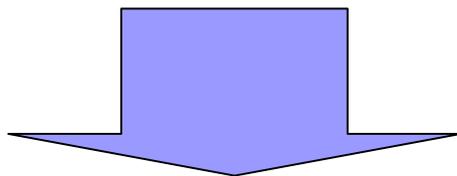
黑

(表皮内恶性黑色素瘤、  
melanoma in situ)





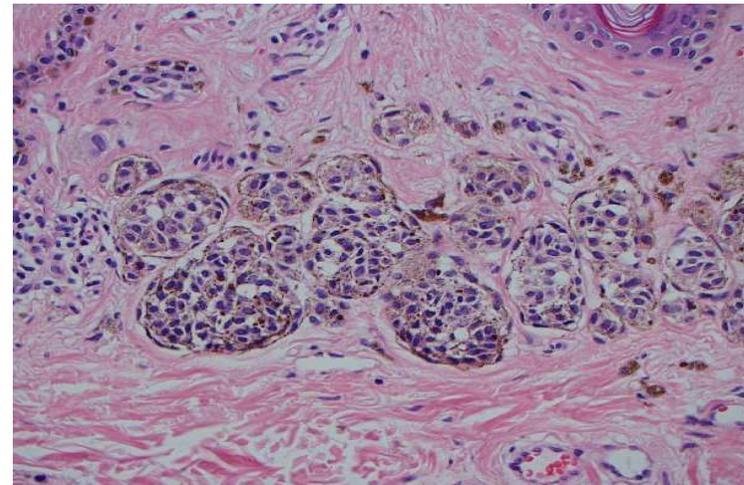
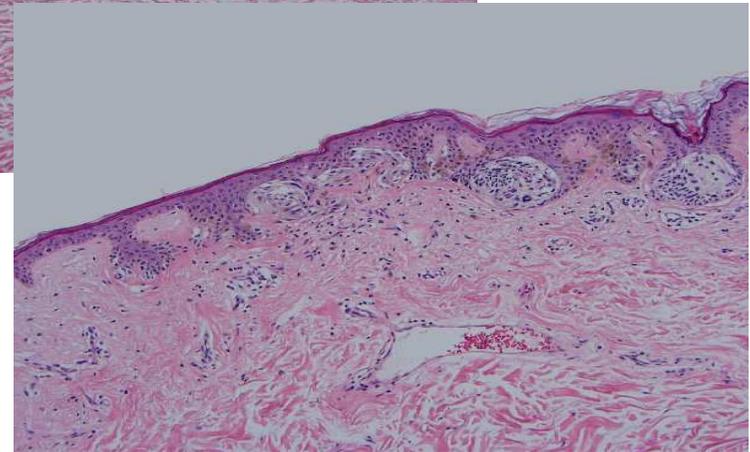
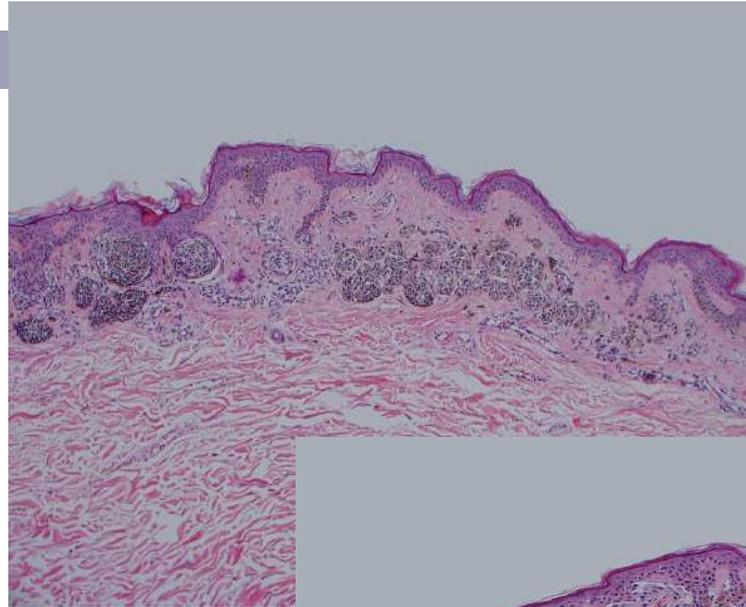
# マクロ：黒色斑



ミクロ：メラニン顆粒 OR 出血(ヘモジデリン)  
表皮浅層の沈着

## 褐色 異形成母斑(ほくろの一型)



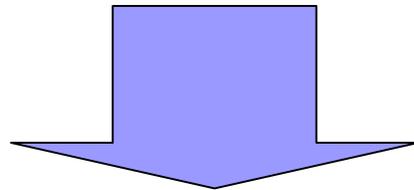


褐色

クラーク母斑 (Dysplastic nevus、  
異形成母斑)

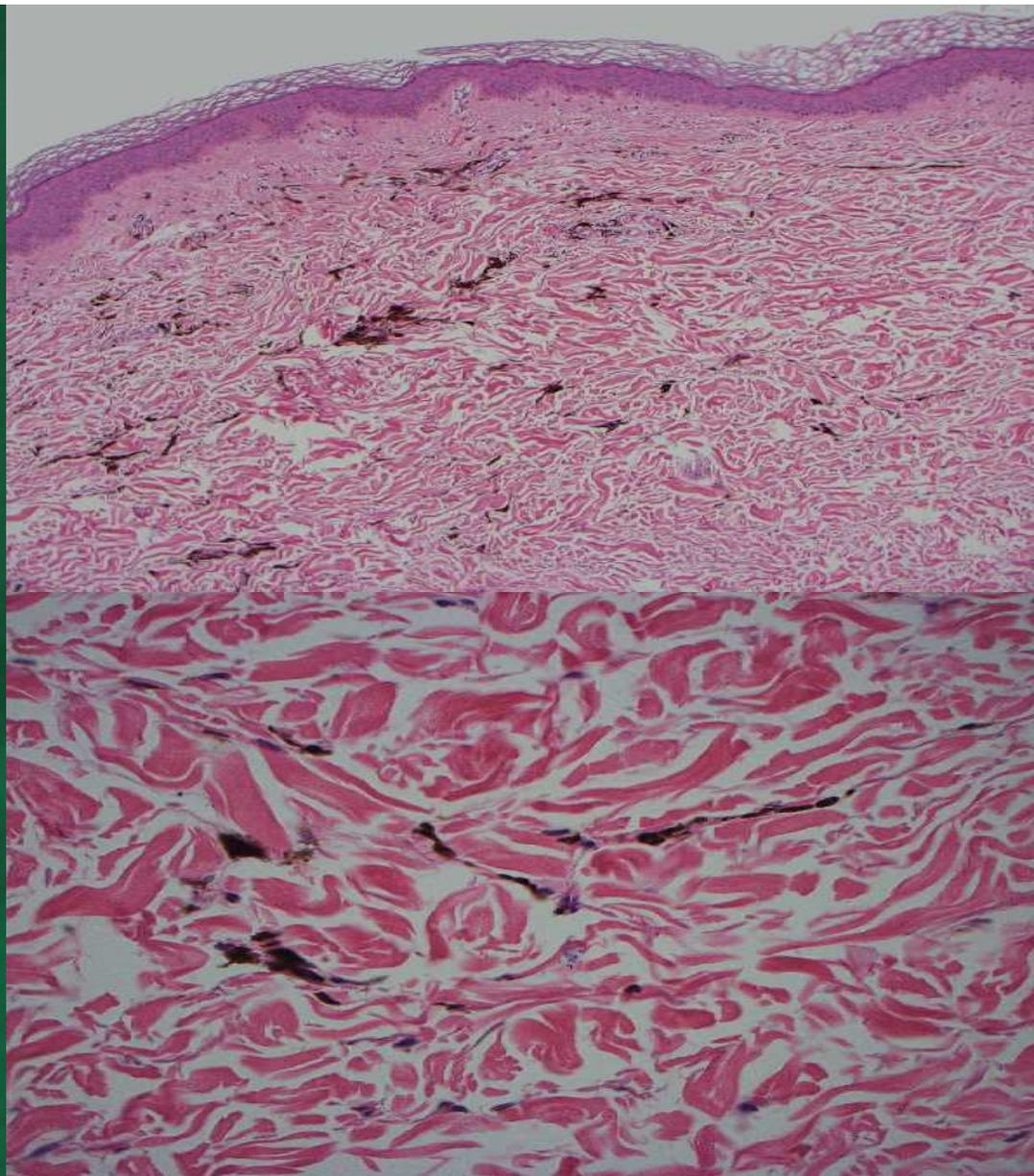


マクロ：褐色斑

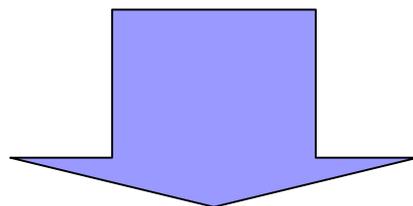


ミクロ：メラニンの表皮基底層～真皮浅層の沈着

# 青 (異所性蒙古斑)



# マクロ：青色斑

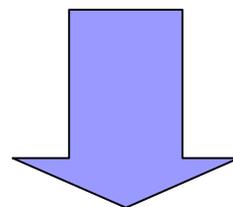


ミクロ：真皮深層のメラニン沈着 or  
真皮深層の静脈の拡張 or  
真皮深層の出血

# 白(尋常性白斑、メラニン色素の欠如による)



マクロ:白



表皮メラニンの欠如

# 紅斑

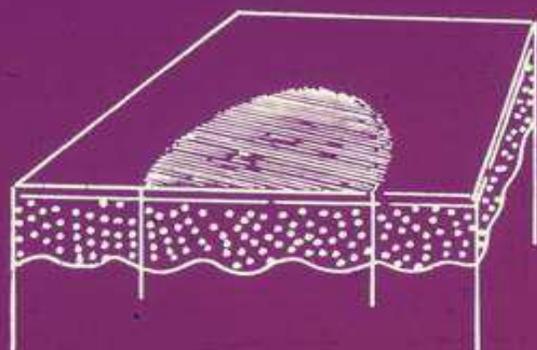


図 1 斑

皮膚面と同高で色調のみが異常である

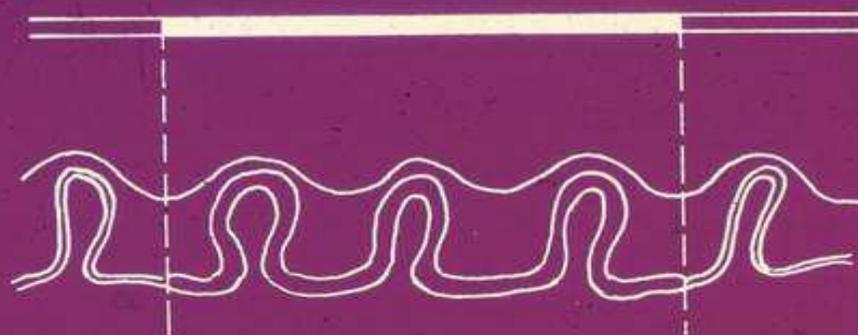
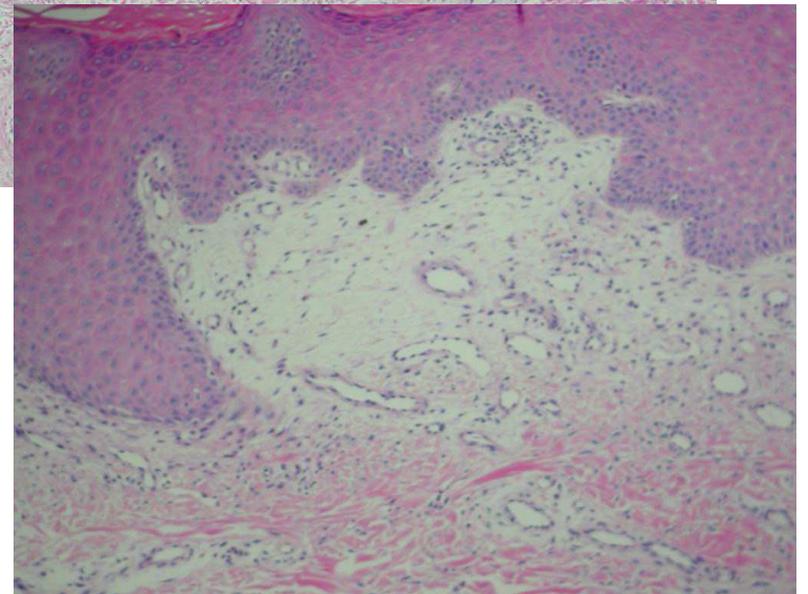
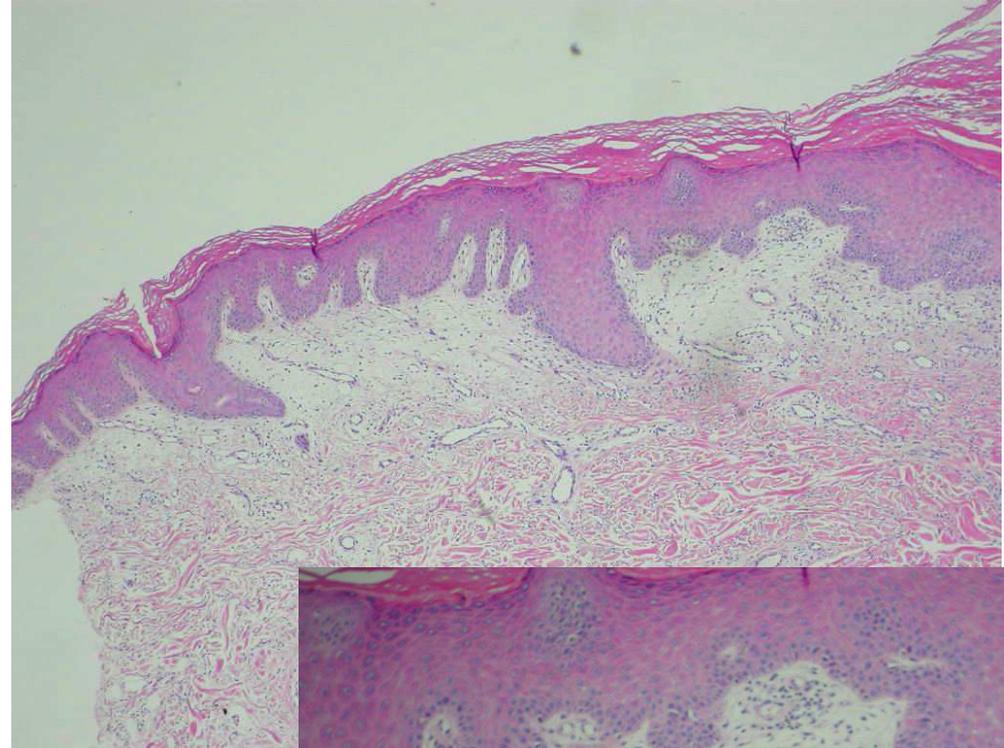
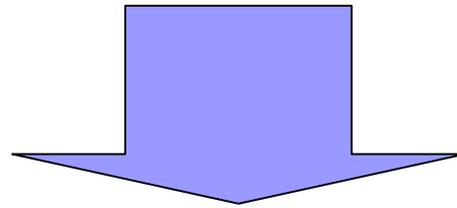
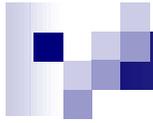


図 2 紅斑の断面

真皮上層の血管が拡張・充血することによって生ずる

# 紅斑





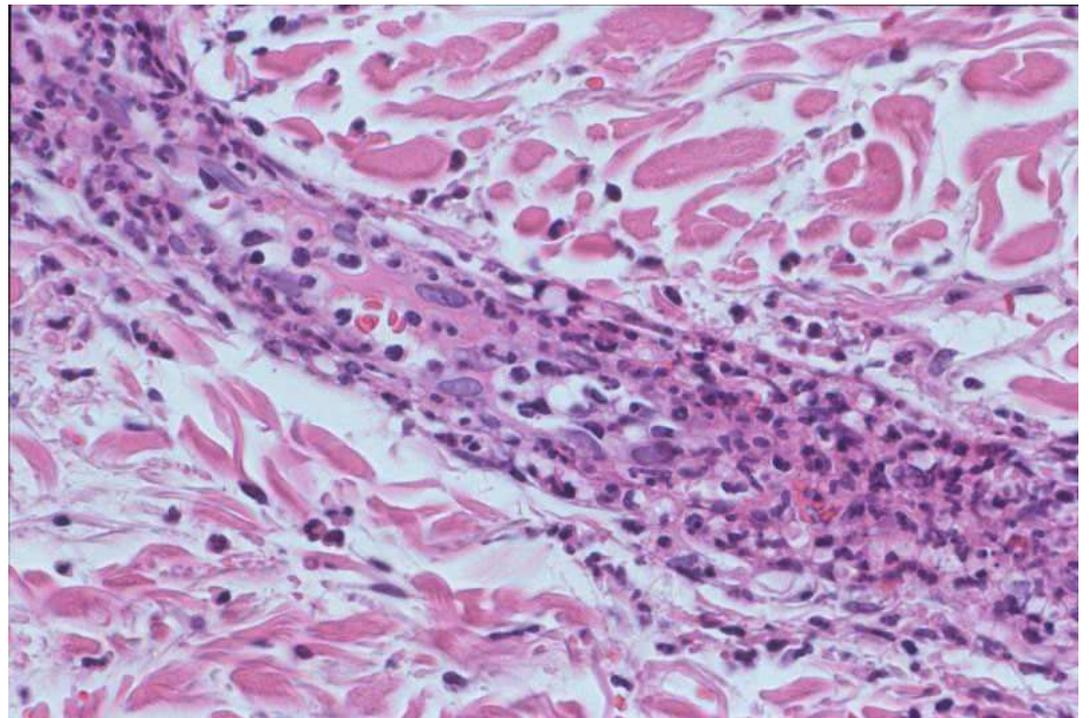
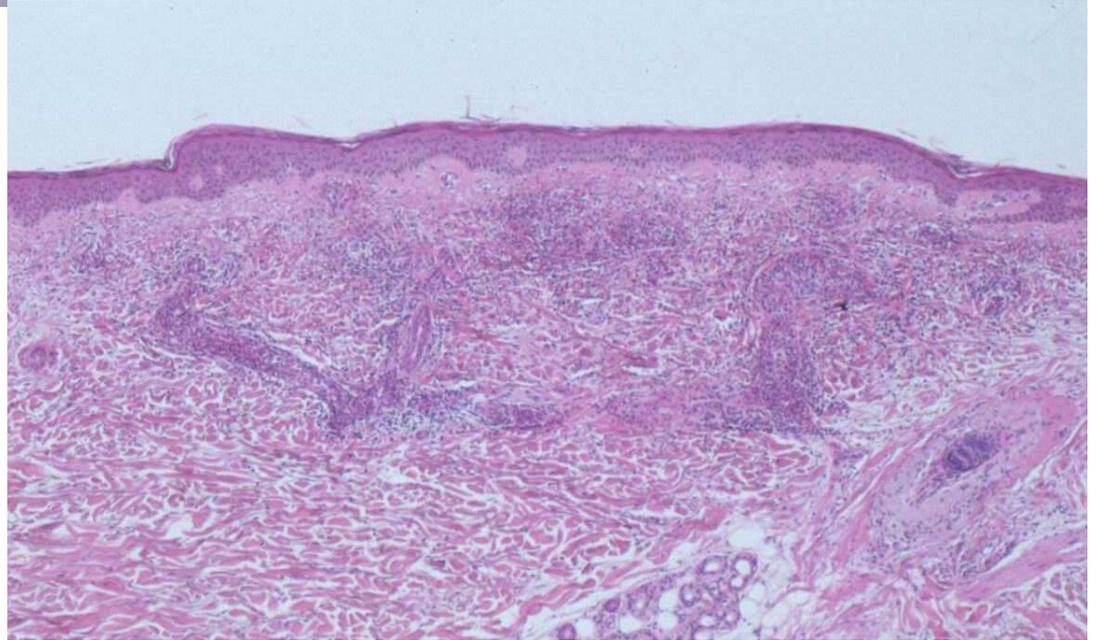
ミクロ：真皮の炎症（血管の拡張）

# 紫斑(出血斑)

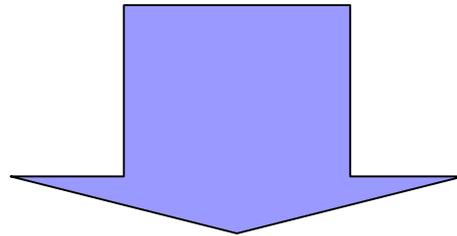


# 紫斑

(アナフィラキシー紫斑)



# マクロ：紫斑（出血斑）



赤血球の漏出

単純な出血 あるいは 血管炎 を考える。

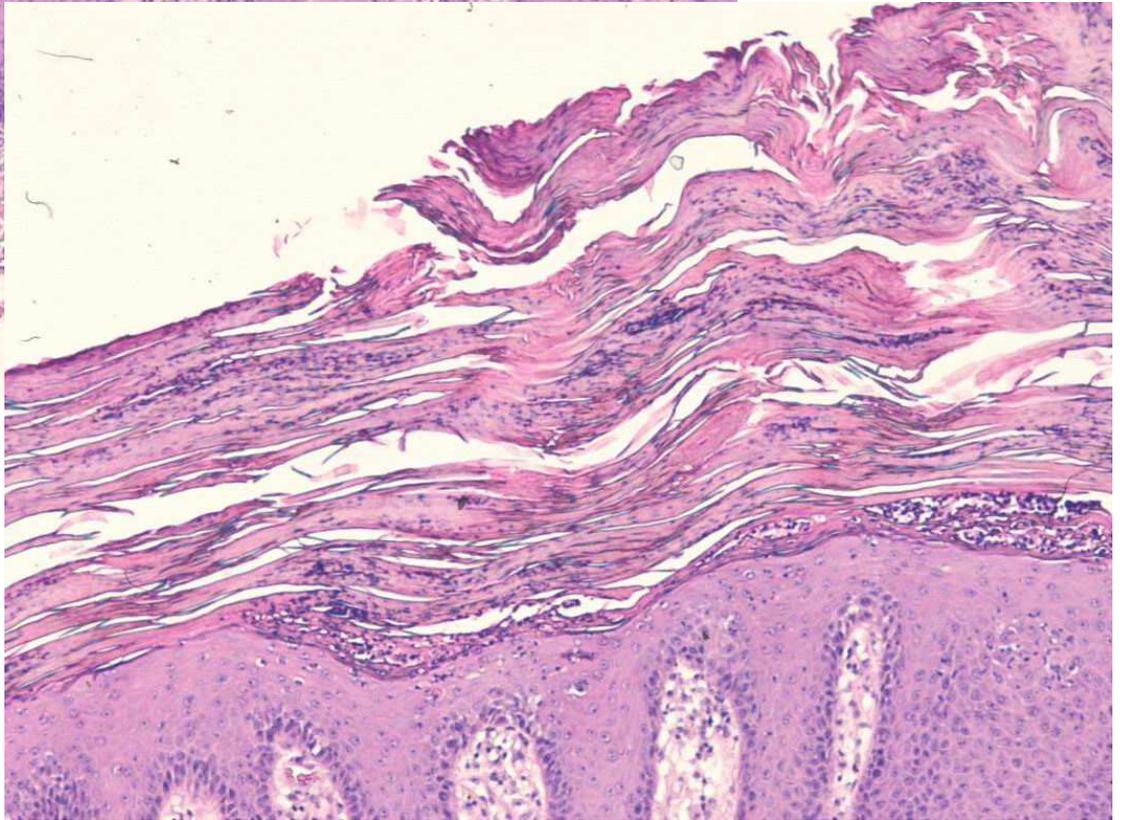
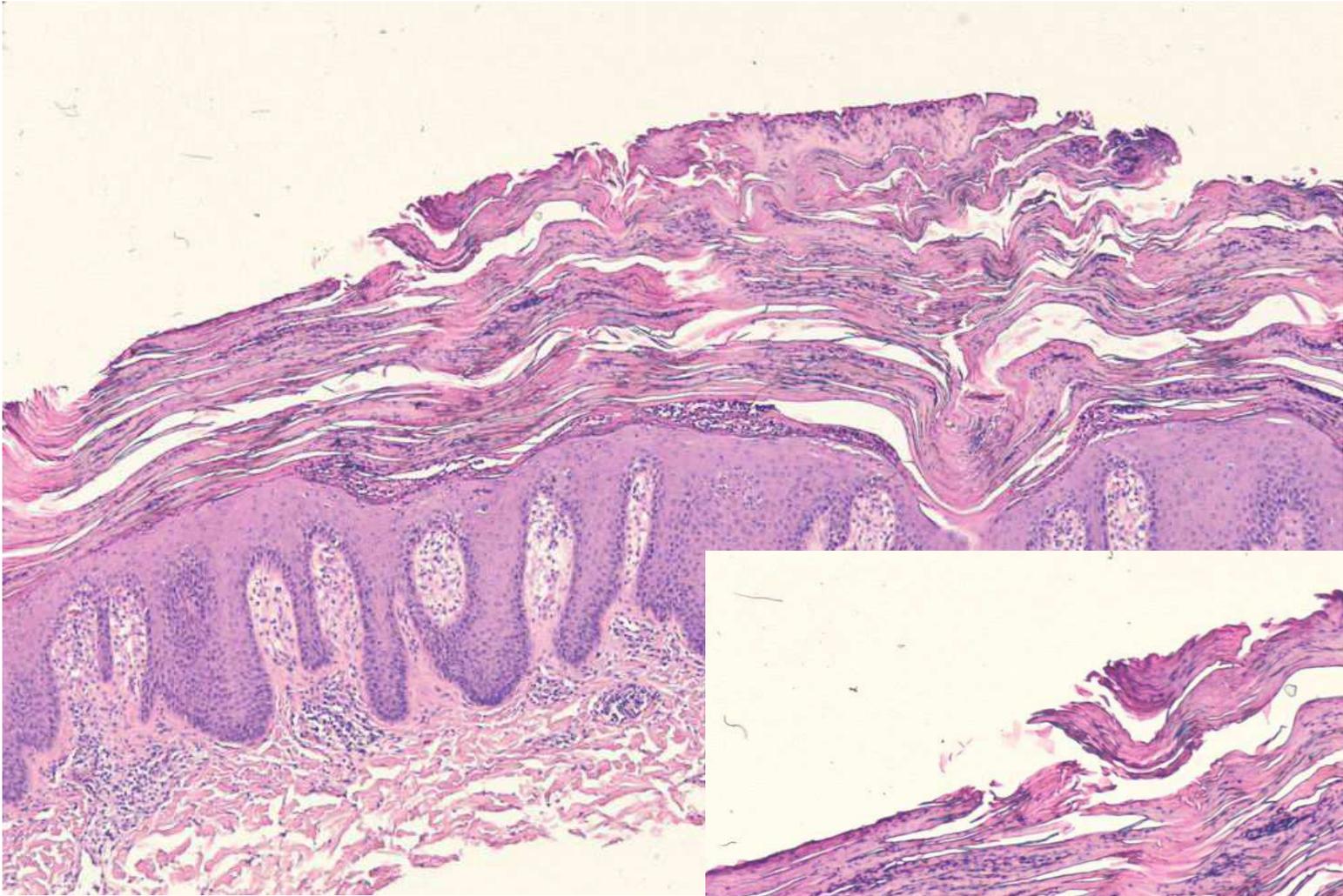
# 鱗屑とは

角化物が堆積し、皮膚表面の白色片として目で見えるようになった状態。鱗屑が皮表より脱落する現象を落屑という。

# 鱗 屑

乾癬における銀白  
色の鱗屑

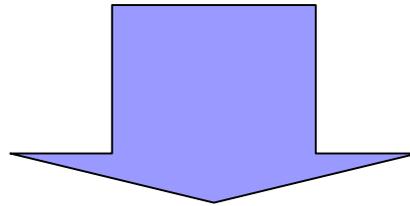




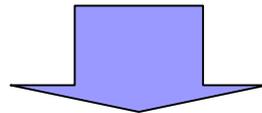
Psoriasis(乾癬)



マクロ：鱗屑



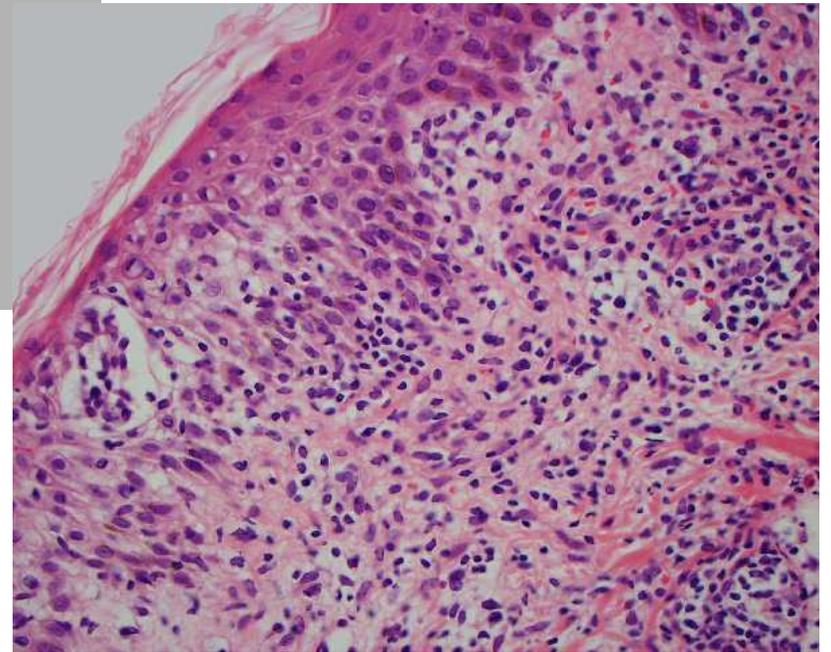
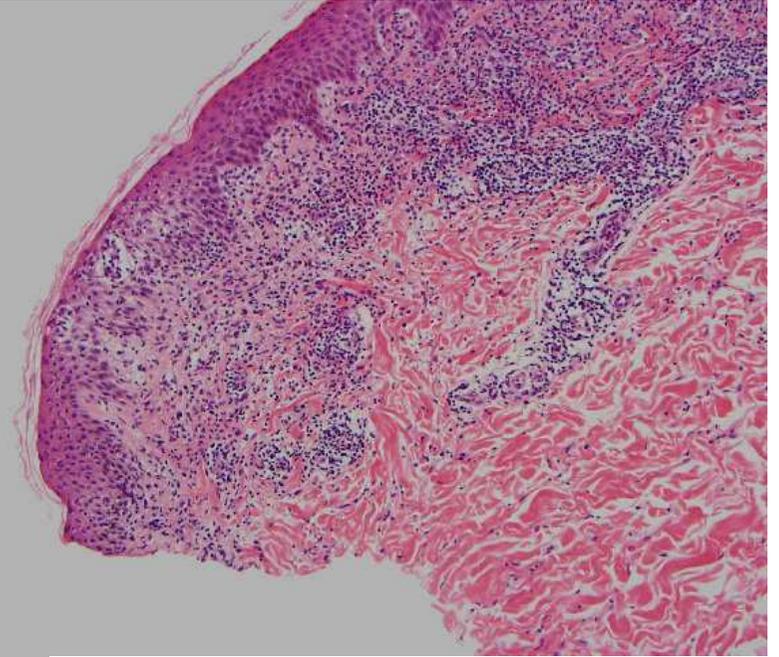
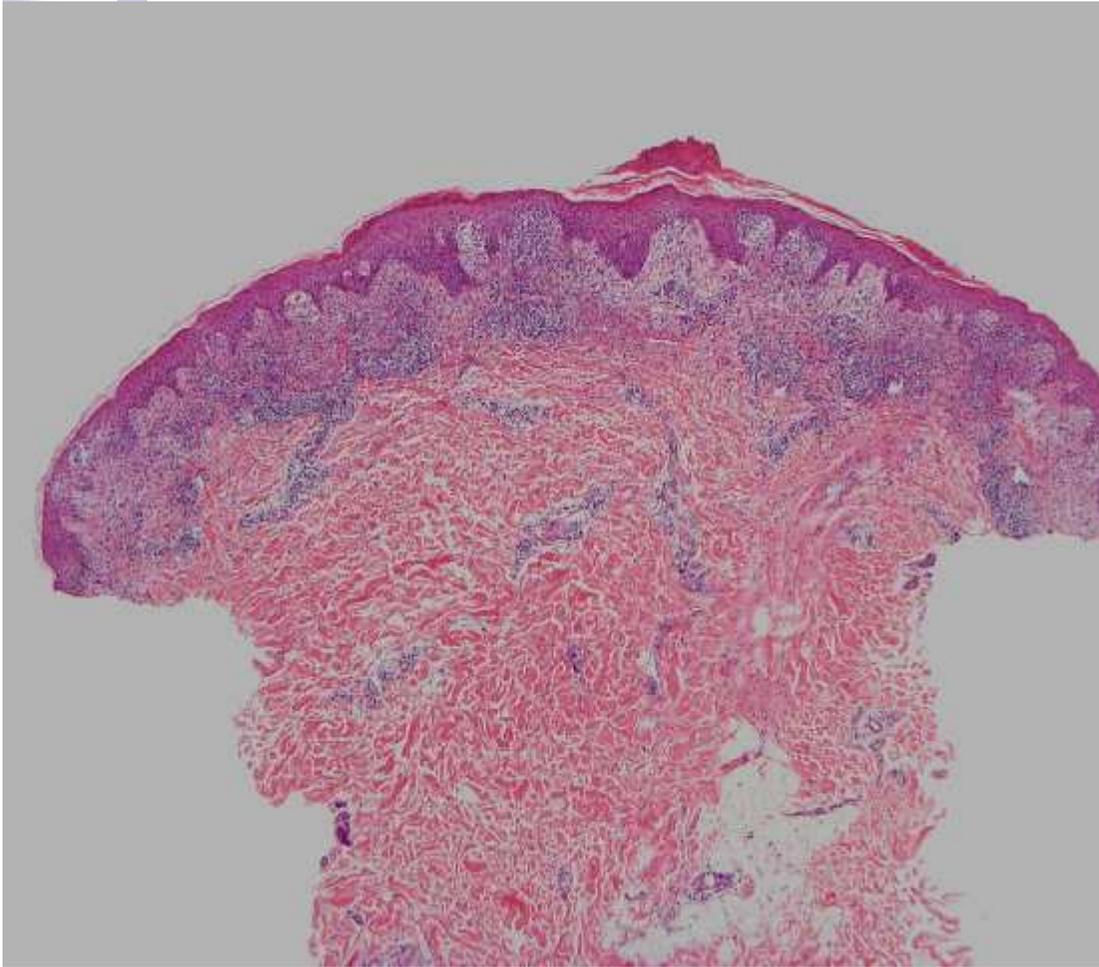
ミクロ：不全(錯)角化  
さらに 角層に好中球をみたら



乾癬を考える

# 環状の鱗屑 (ジベルばら色秕糠疹)

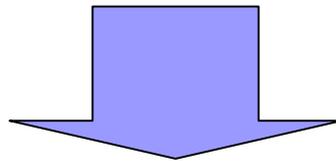




ジベルばら色粧糠疹 (Spongiotic dermatitis)



## マクロ：環状鱗屑



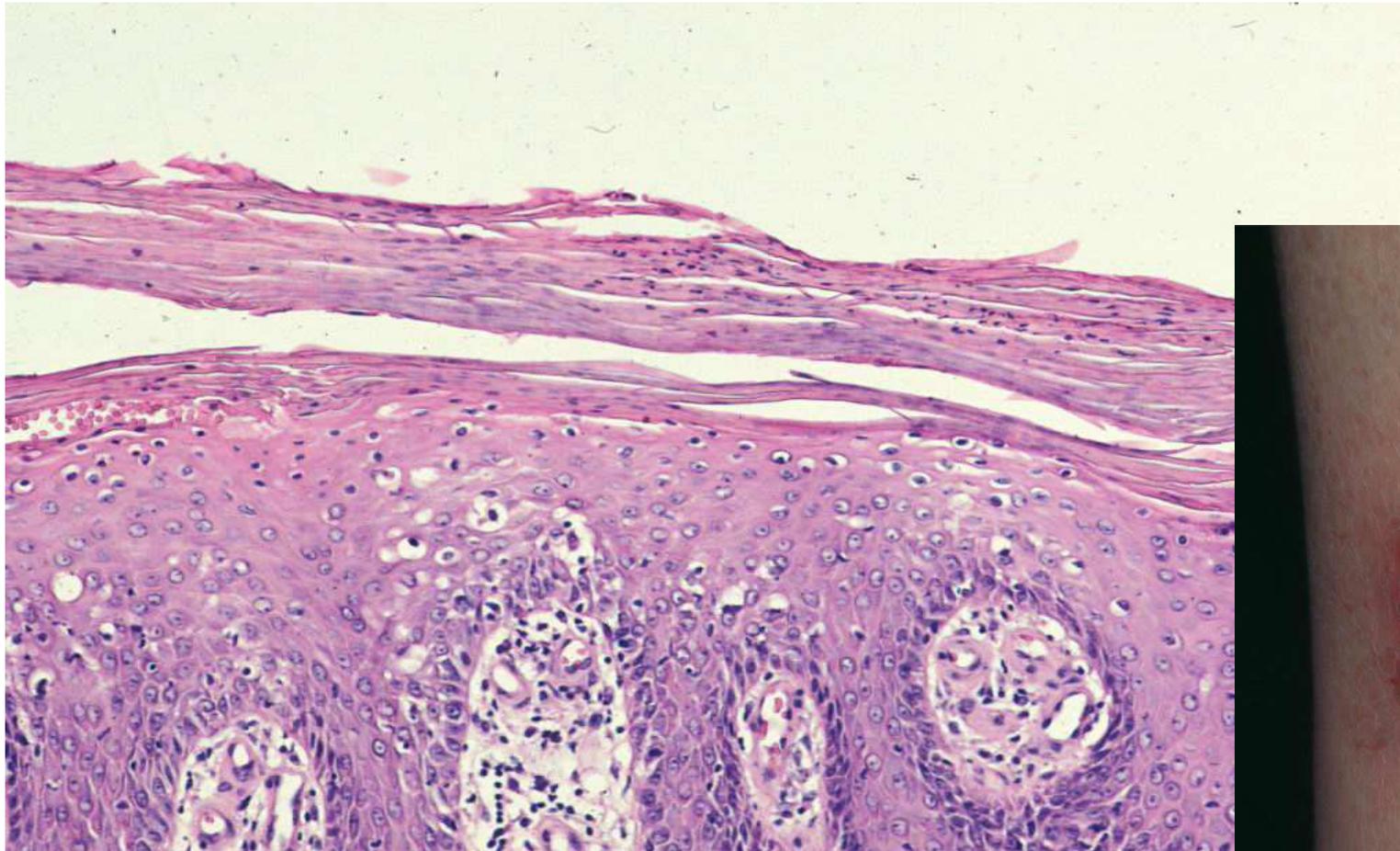
ミクロ：マウンド状の不全角化で、海綿状皮膚炎の表皮変化であることが多い



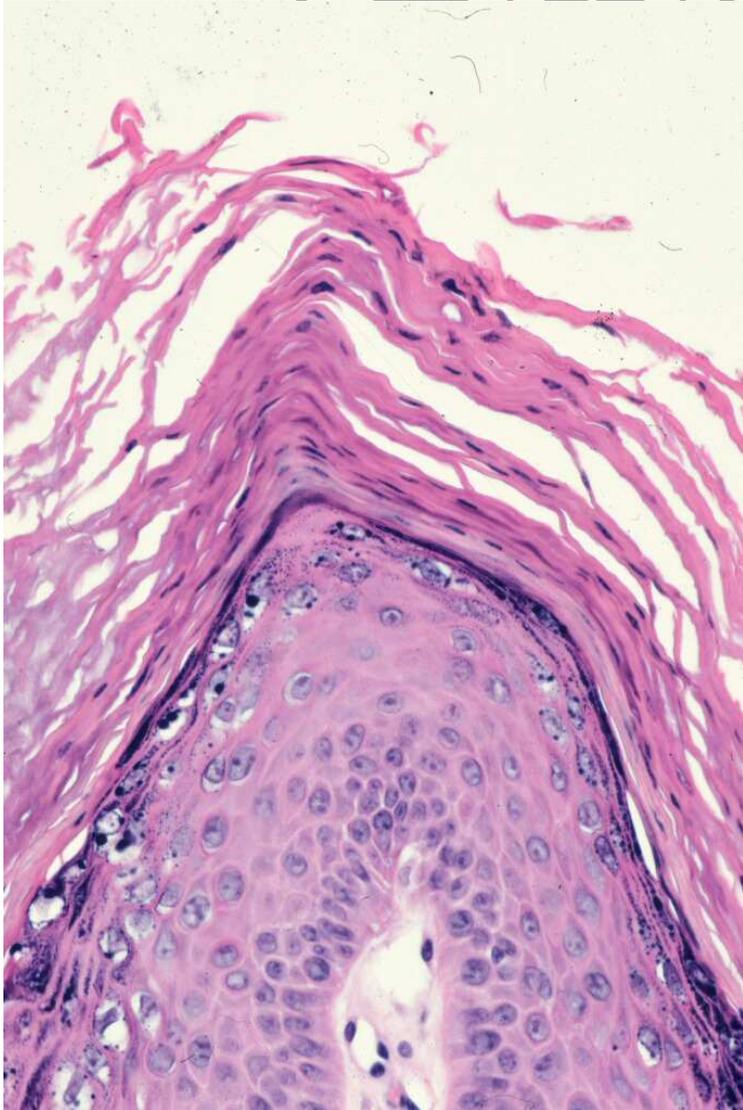
# 角質層の病的変化

- 不全(錯角化)角化(parakeratosis)
  - 角質層における核の遺残。角化が完全でないことを意味する  
例: 乾癬、疣贅、表皮腫瘍など
- 好酸性の肥厚
  - 慢性の擦過状態を意味することが多い  
例: 慢性単純性苔癬、結節性痒疹
- 層状の肥厚
  - 先天的な角化異常症である魚鱗癬で見られる。

# 不全角化(乾癬)



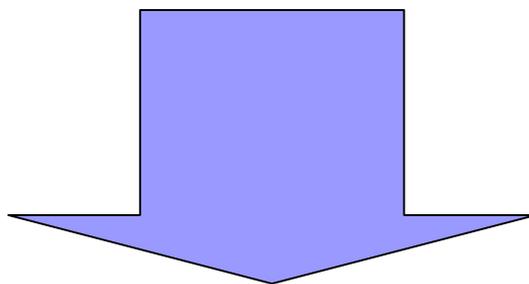
# 不全(錯)角化(疣贅)



# コンパクトな過角化 (慢性単純性苔癬)



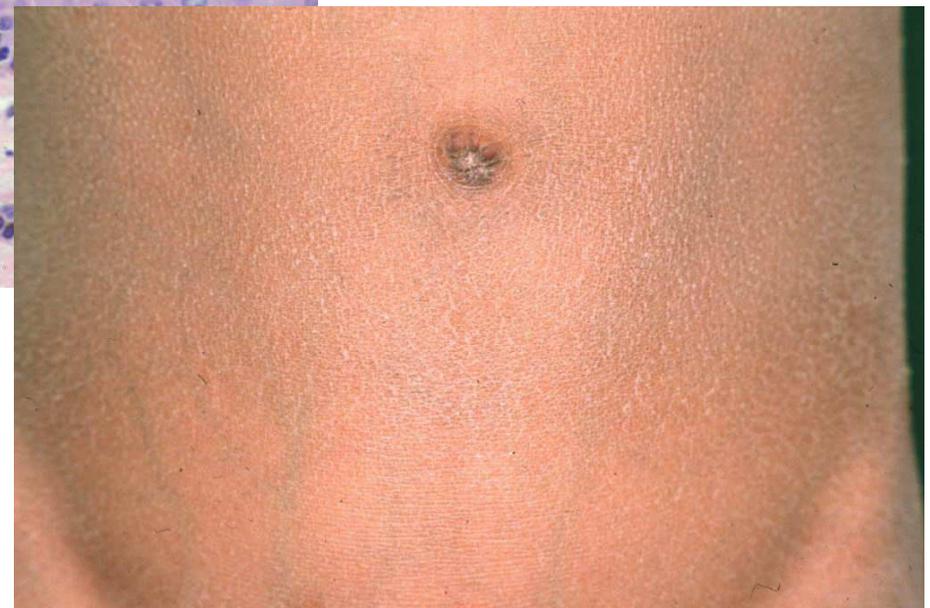
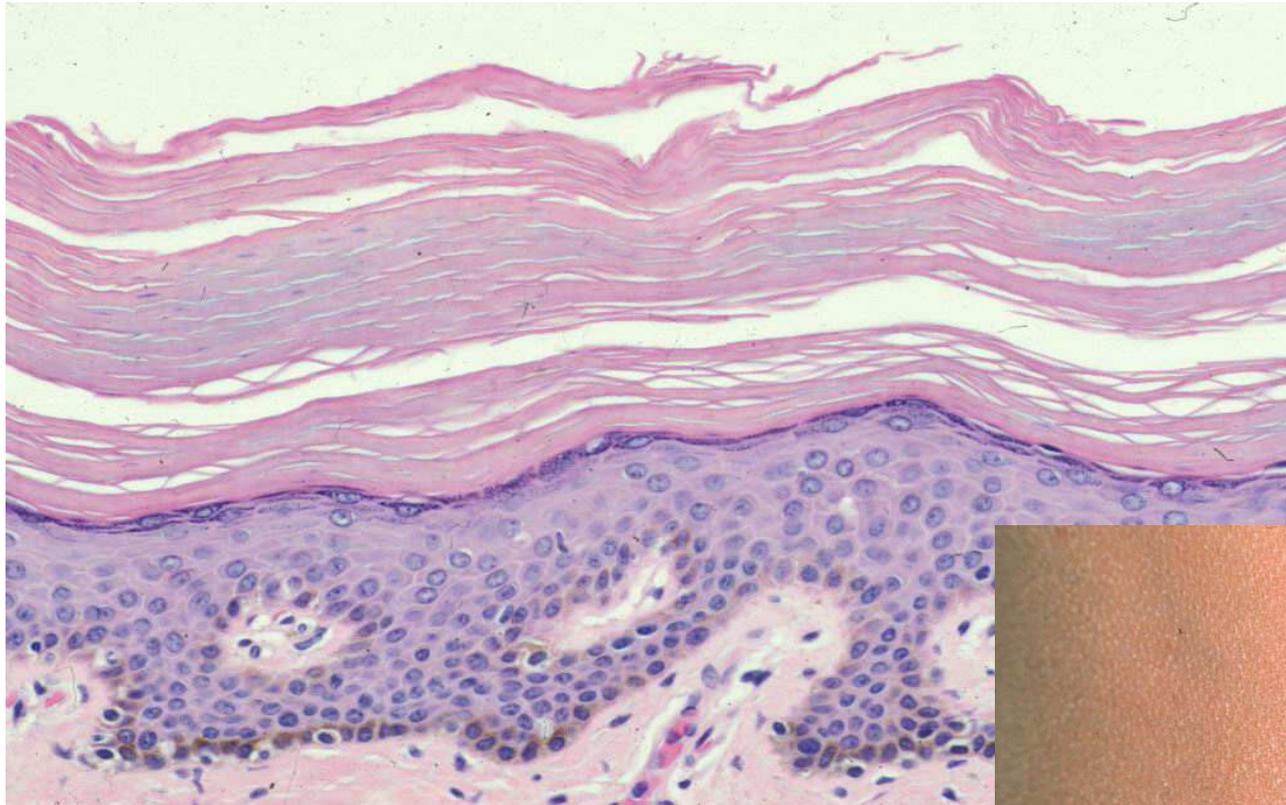
# マクロ：苔癬化



ミクロ：

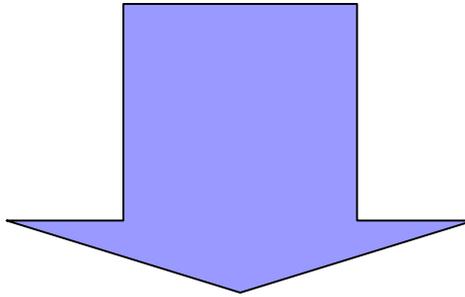
コンパクトな過角化  
表皮の鋸歯状肥厚  
真皮浅層の線維化

# 層状の過角化/魚鱗癬





マクロ：(尋常性)魚鱗癬



マクロ：層状の不全角化を伴う角層の肥厚

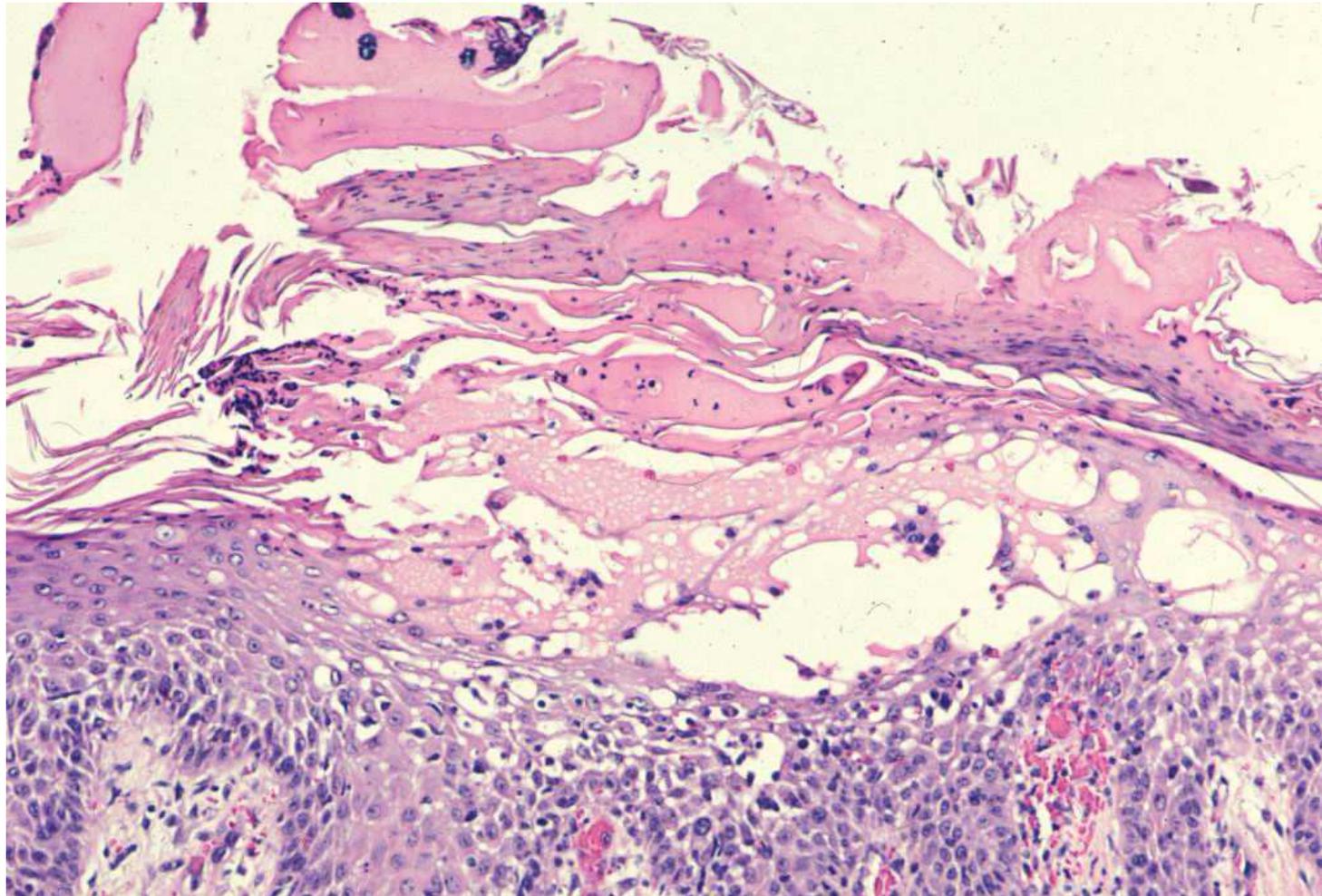
# 痂皮

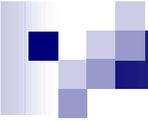
血漿、血球など血液成分が角質層に固着した状態。赤血球が多いと赤色痂皮。好中球、リンパ球が主体だと黄色痂皮となる。

## 乾癬にみられた鱗屑と痂皮

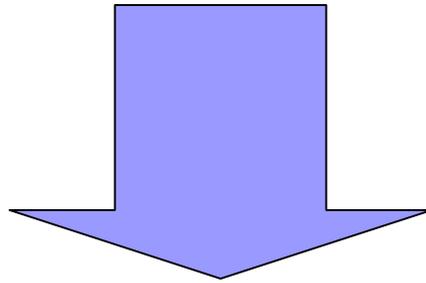


# 痂皮の組織所見





マクロ：痂皮（かさぶと）



ミクロ：血漿成分～各種血球の角層への移行

暗紅色：赤血球が多い

黄色調：好中球が多い

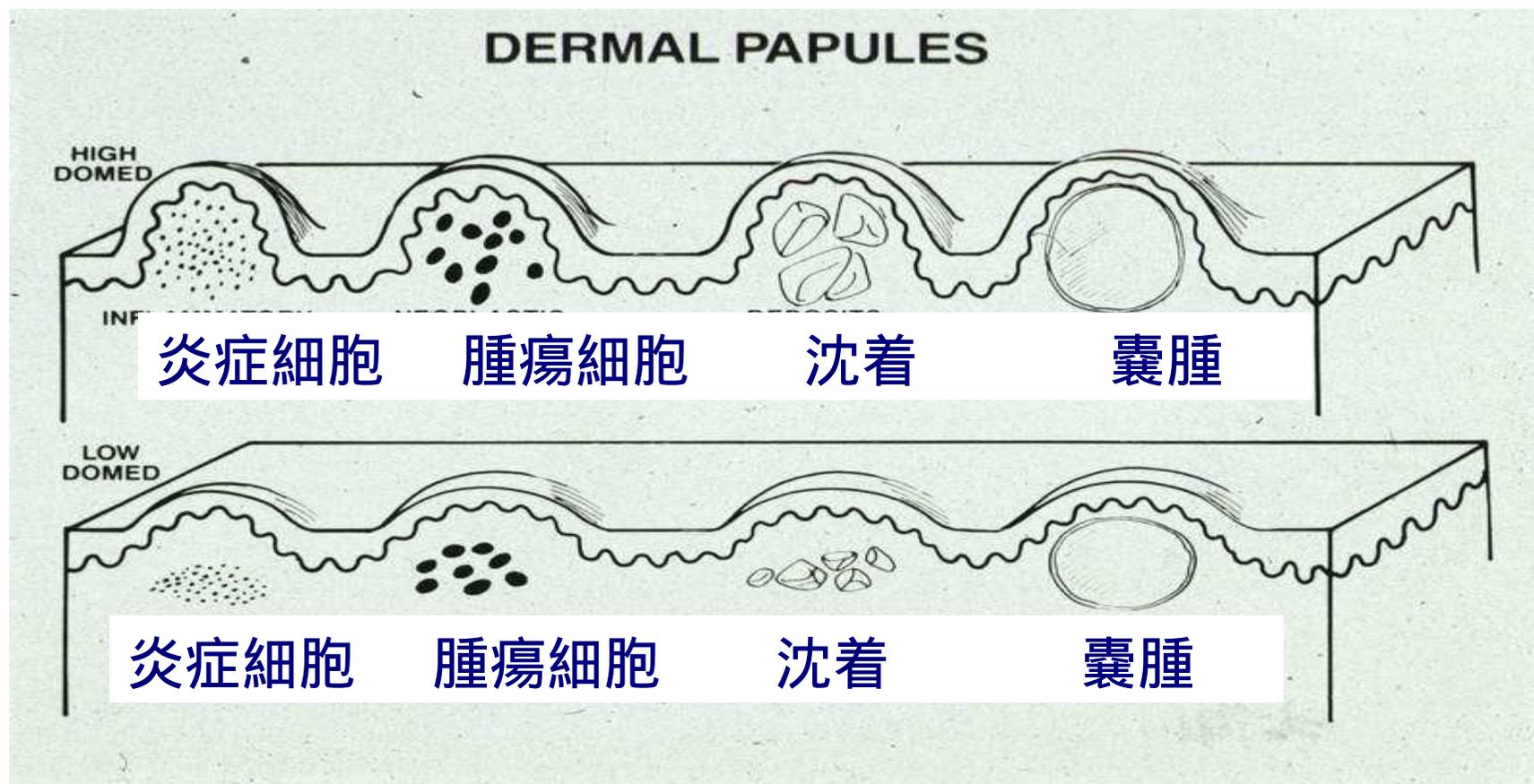
# 丘疹

非水疱性、非膿疱性の皮膚面  
より隆起する径1 cm以下の皮疹

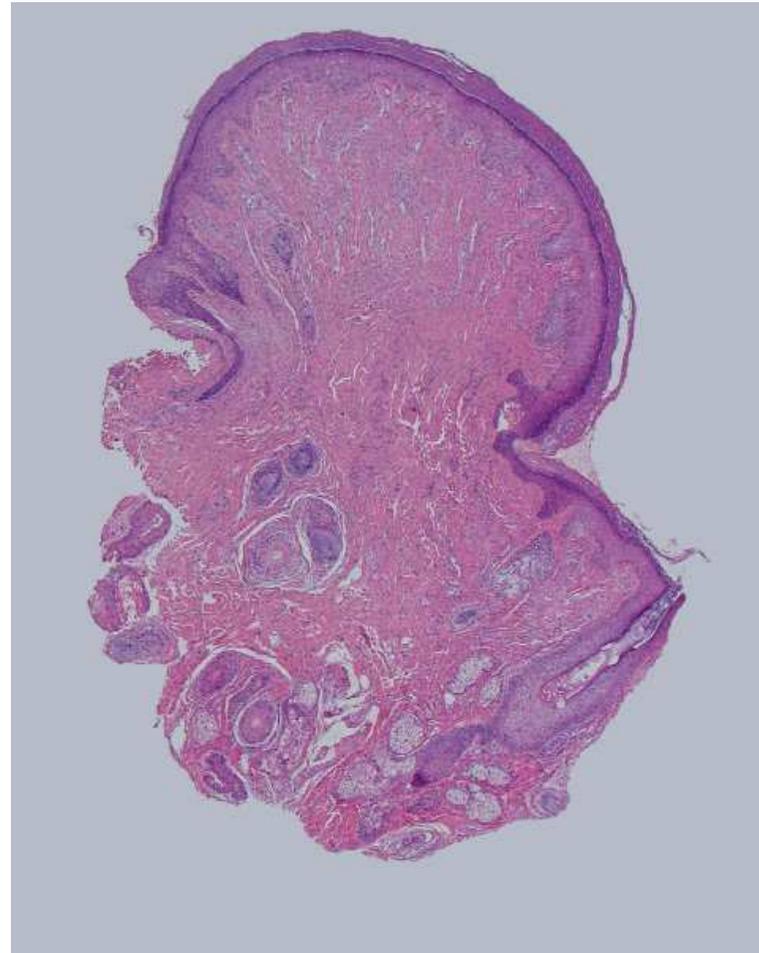
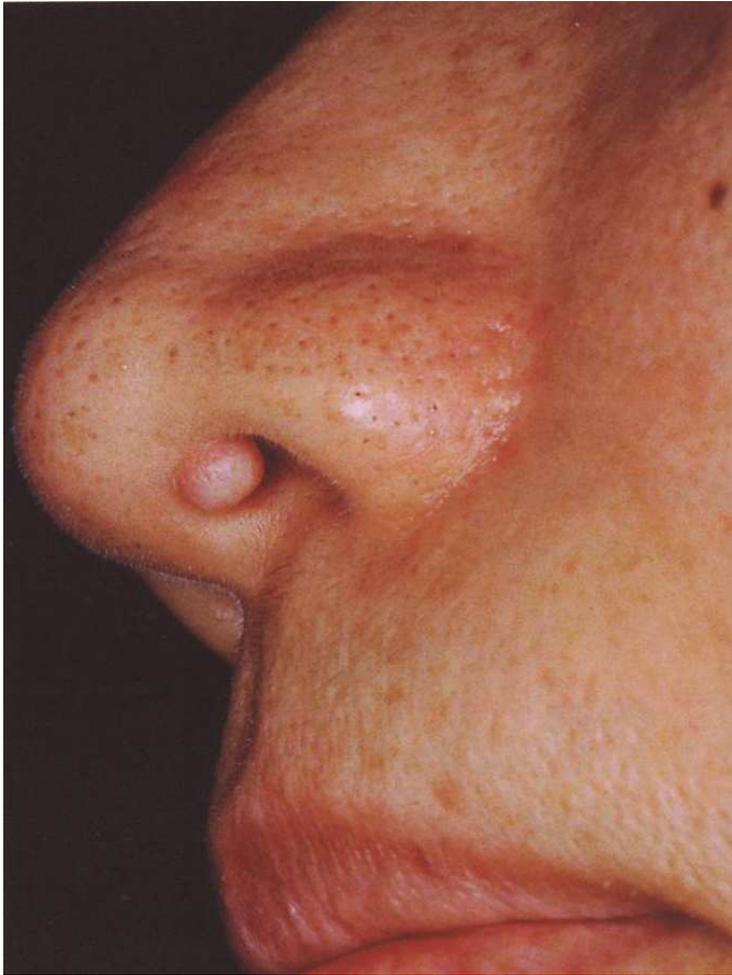
# 丘疹



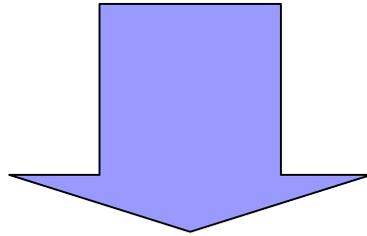
# 真皮成分による構成される丘疹



真皮成分による丘疹  
(Fibrous papule of the nose)



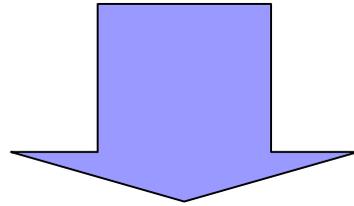
マクロ：丘疹（ドーム～半球状隆起）



真皮の比較的浅い部位に病変がある  
炎症があれば、一般に赤い  
炎症がなければ腫瘍～沈着症を考える

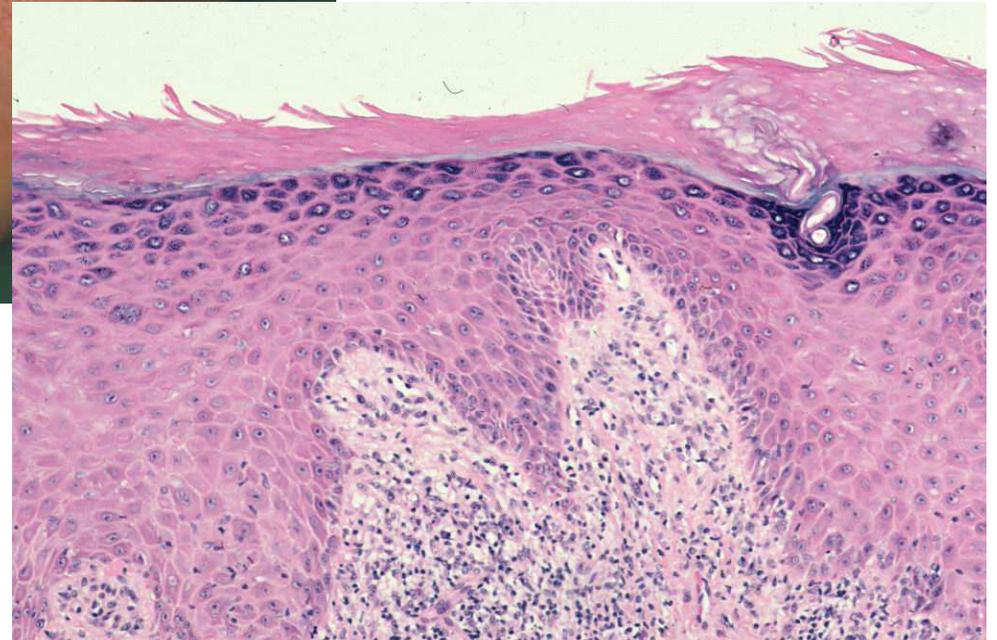


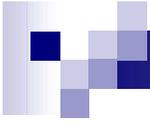
マクロ：隆起に乏しい丘疹



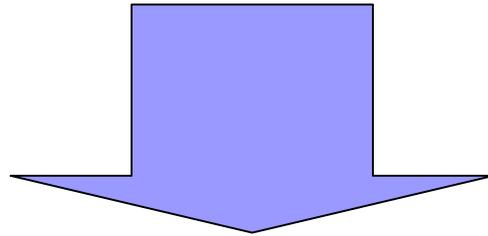
真皮の深い部位に病変が存在

## 液状变性(扁平苔癬)



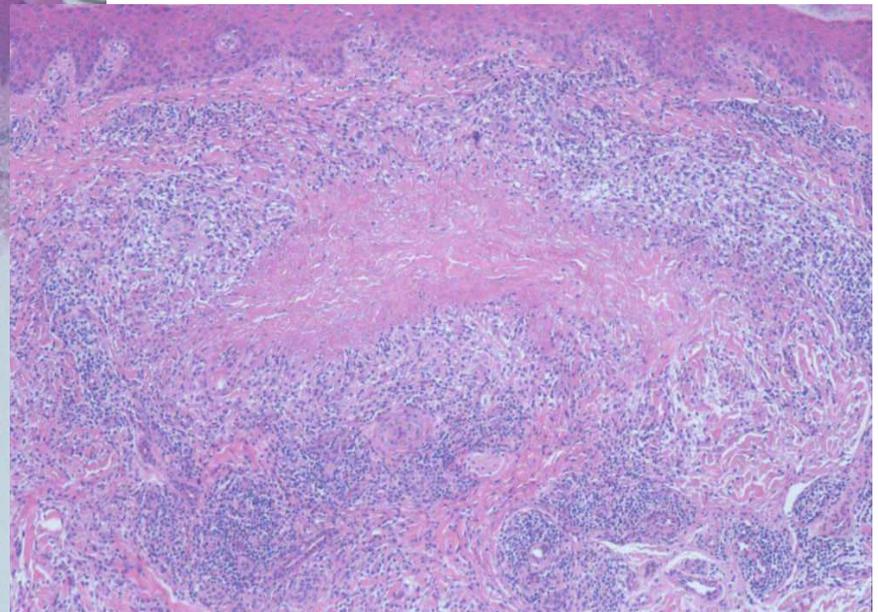
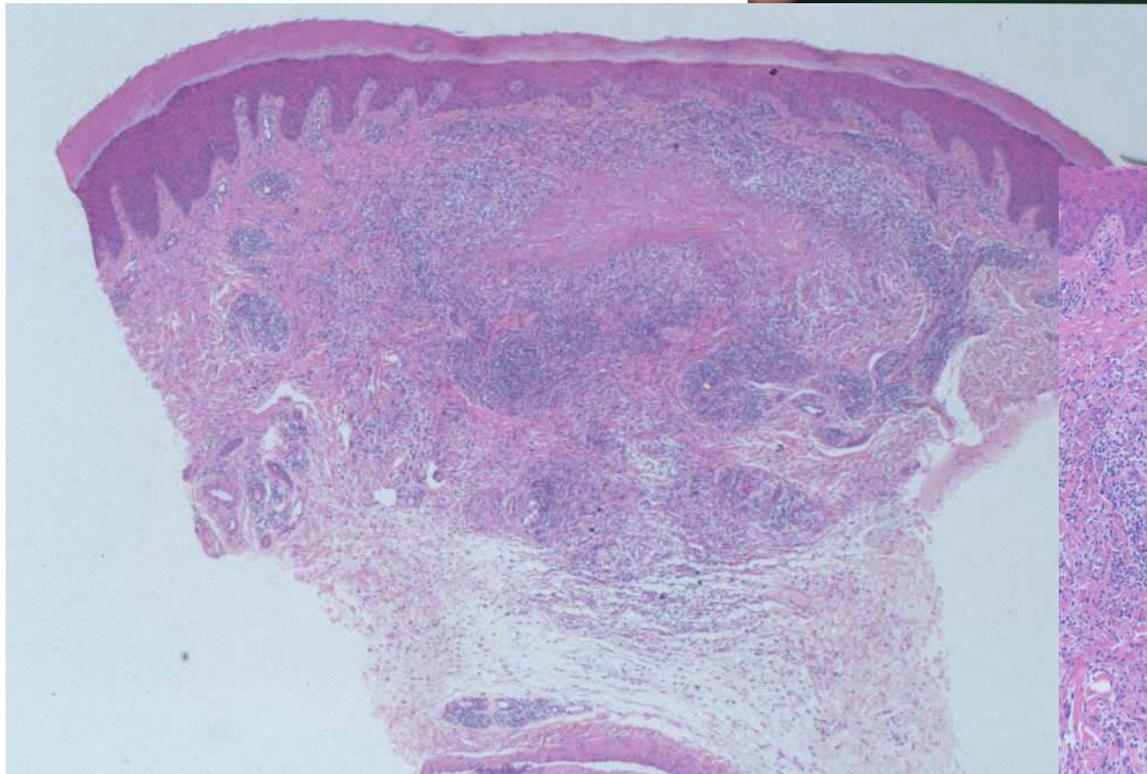


マクロ：扁平に隆起する丘疹



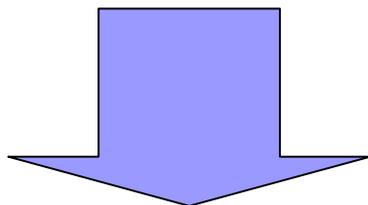
真皮浅層の帯状細胞浸潤  
扁平苔癬、菌状息肉症などを疑う

真皮成分による丘疹(環状肉芽腫)



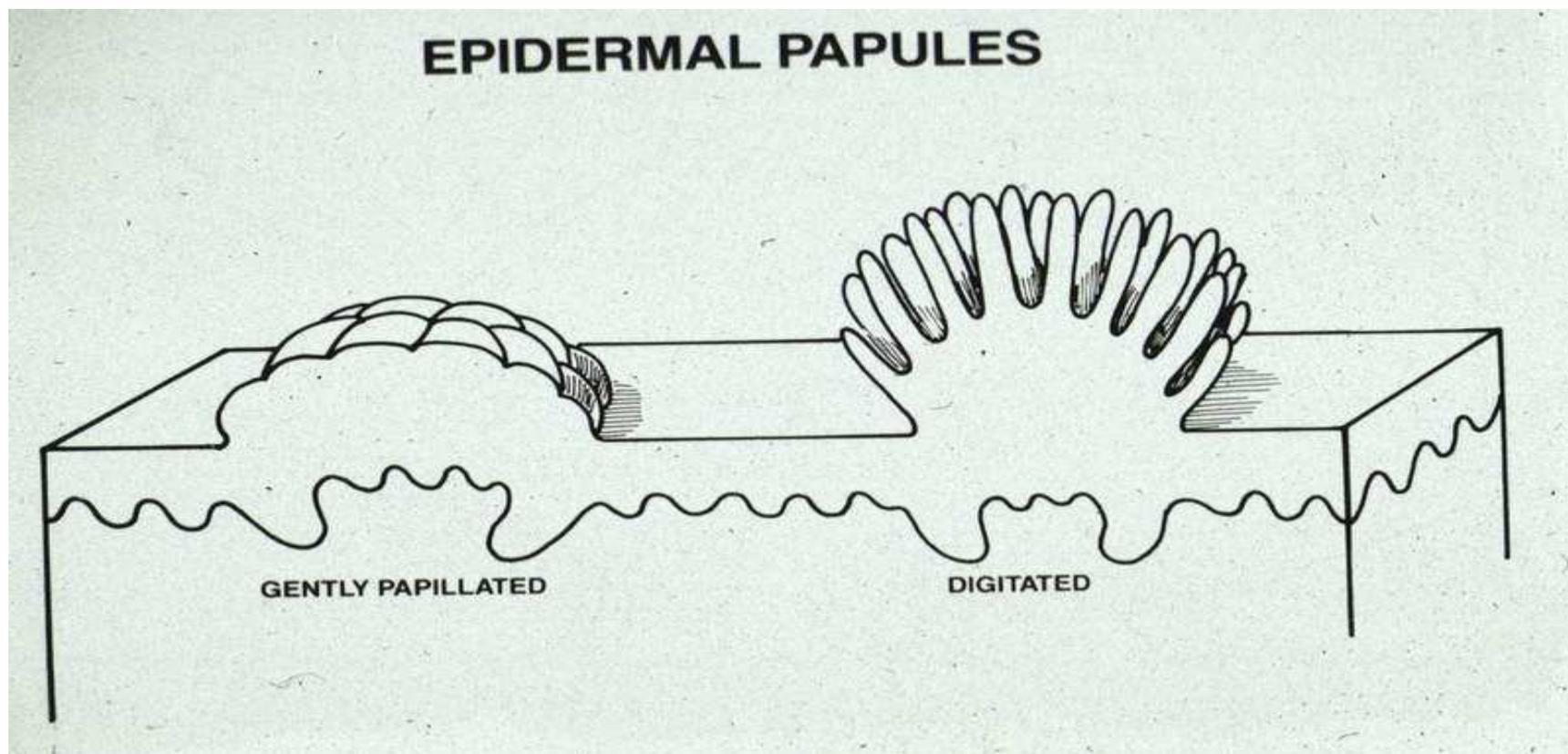


マクロ：硬い環状丘疹

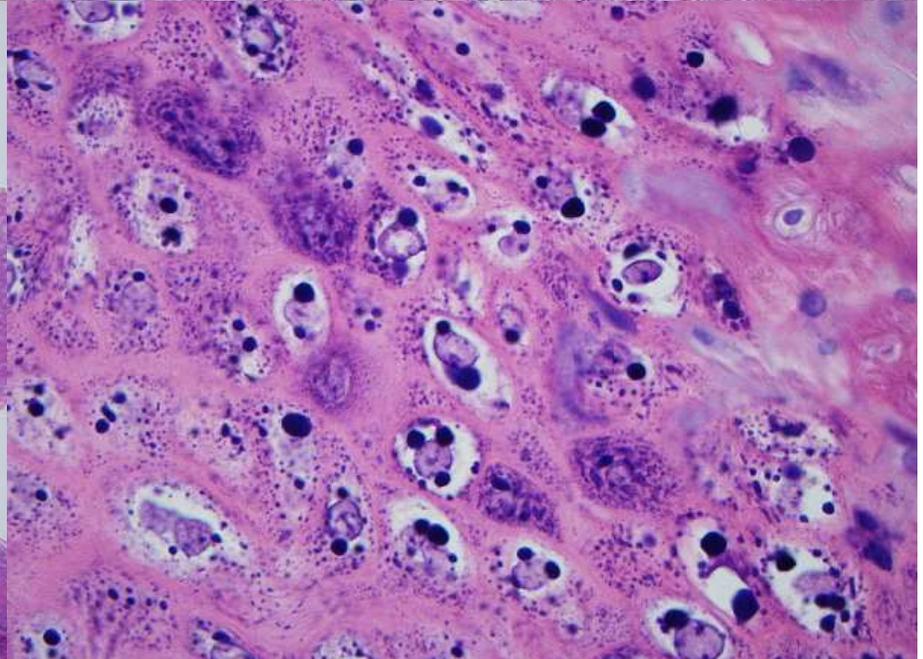
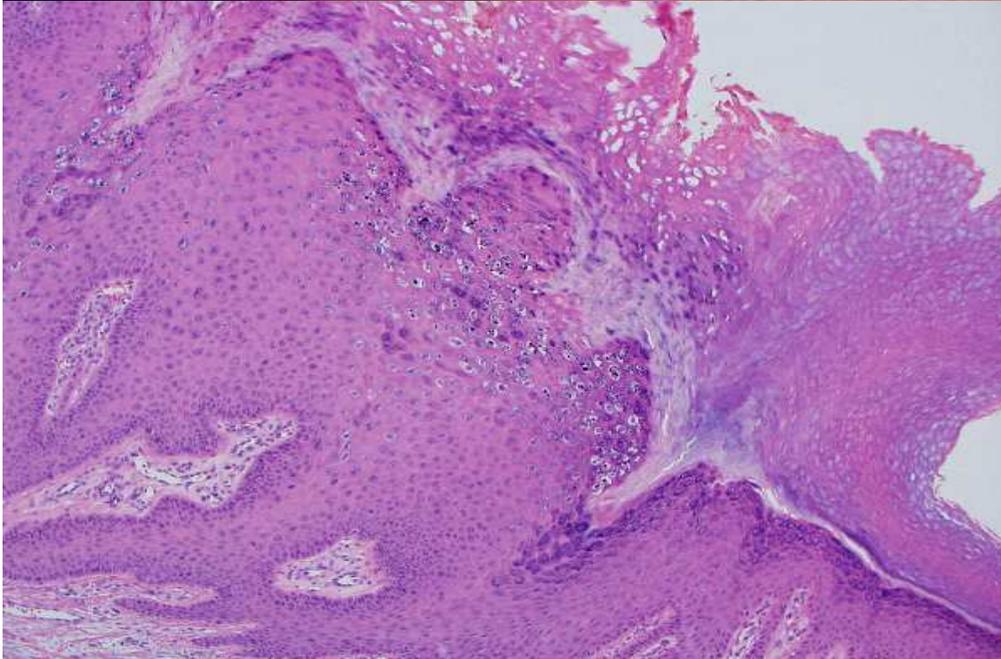
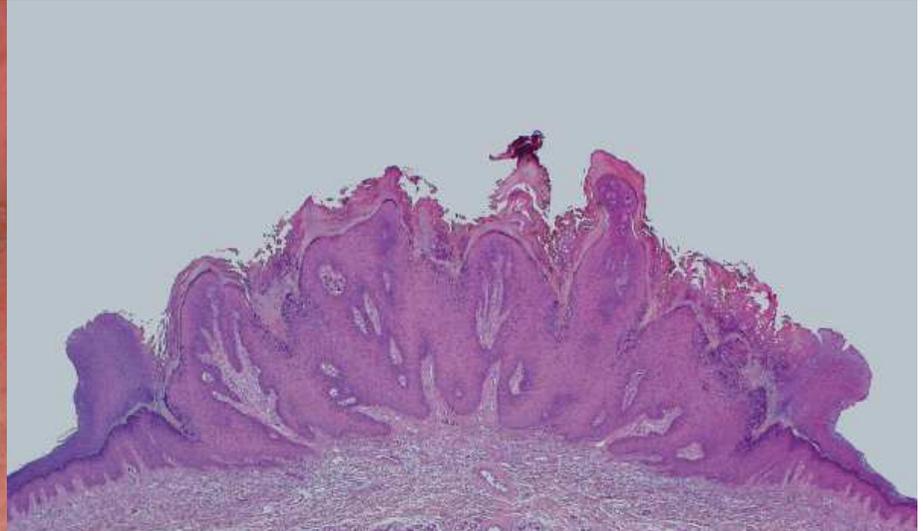


環状肉芽腫を考える

# 表皮の隆起による丘疹

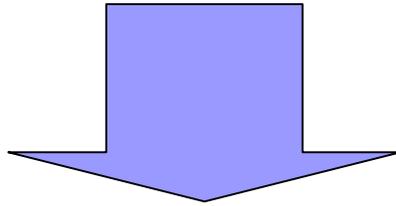


# 丘疹(表皮の肥厚による)





マクロ:いぼ

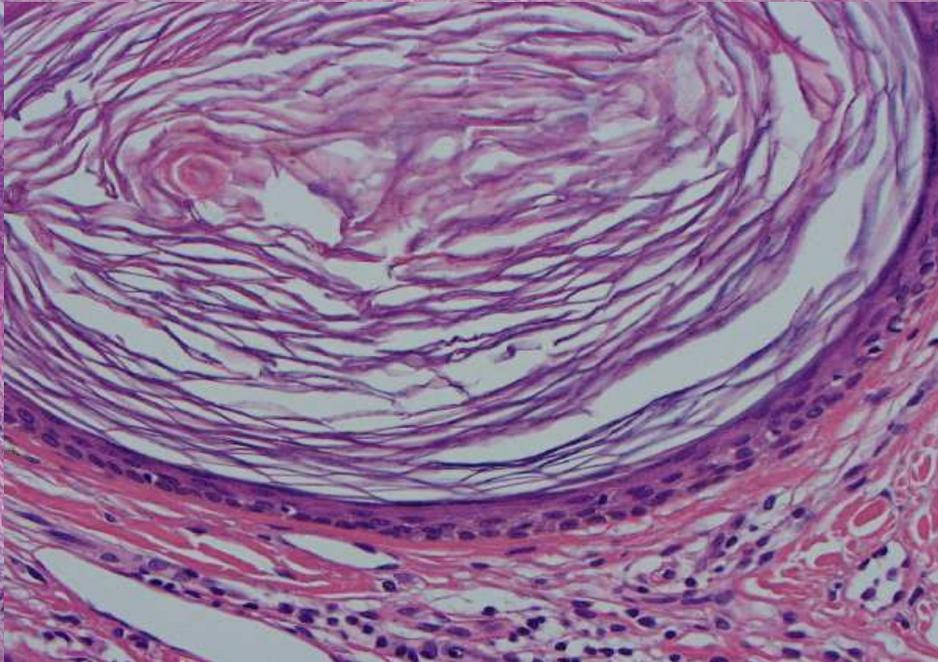
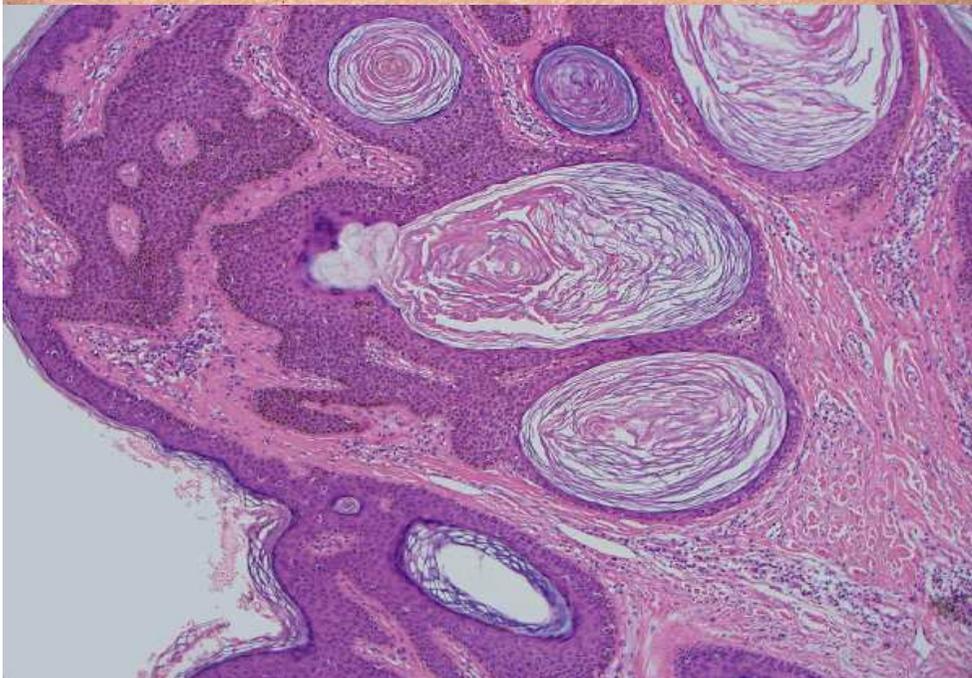
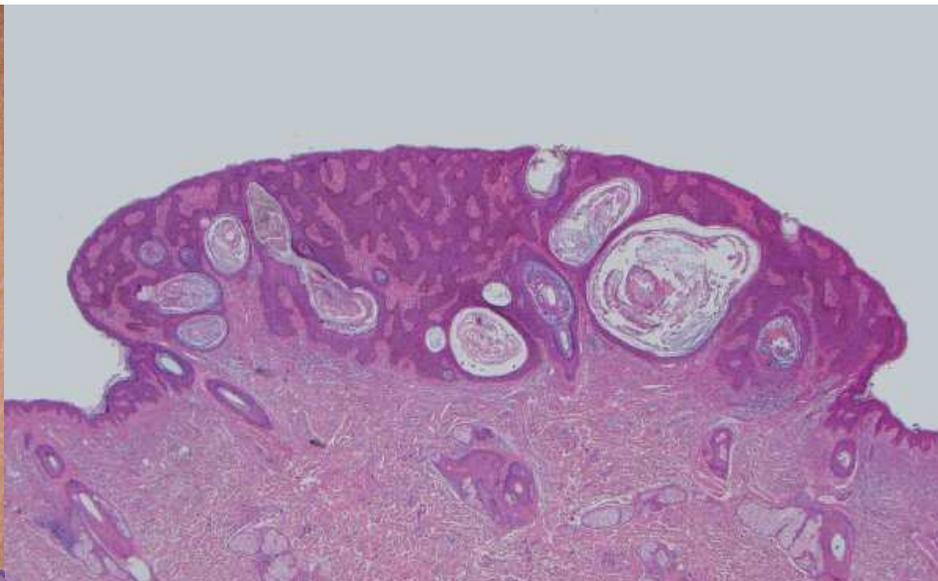


表皮の指状隆起と同部の不全角化

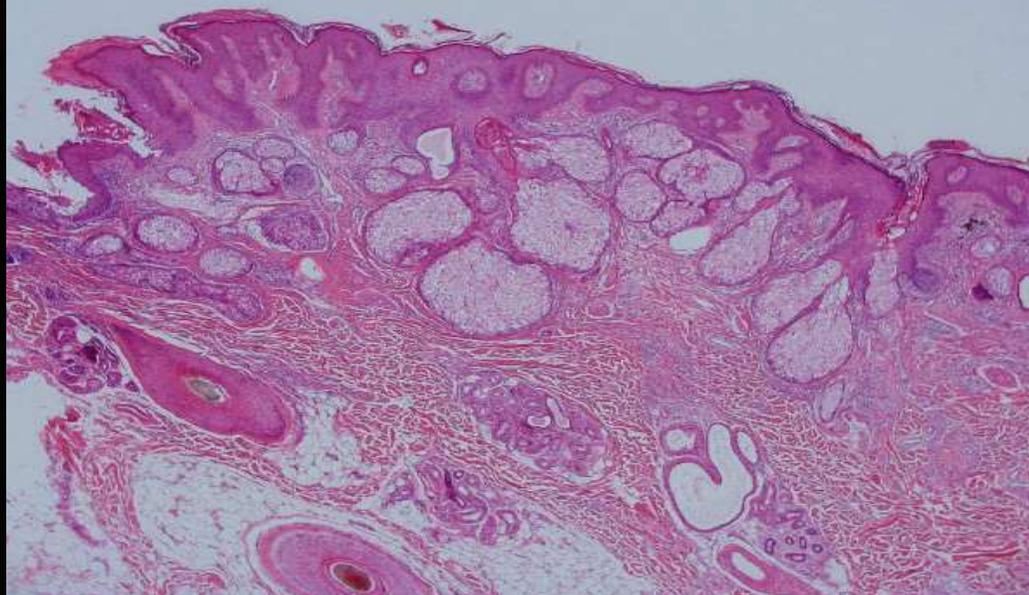
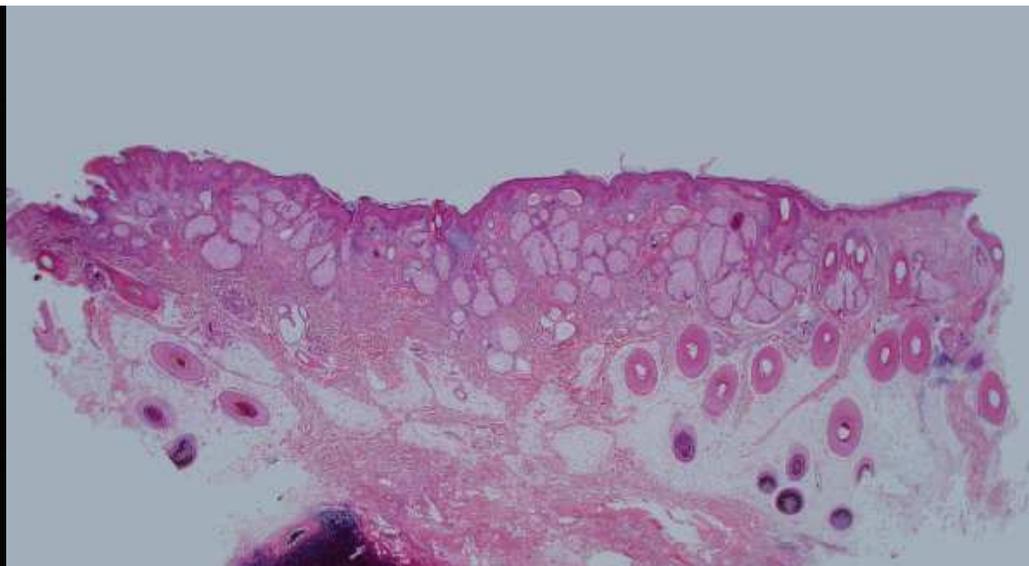
# 局面

幅広く、ほぼ扁平に隆起する径  
1 cm以上の皮膚病変。

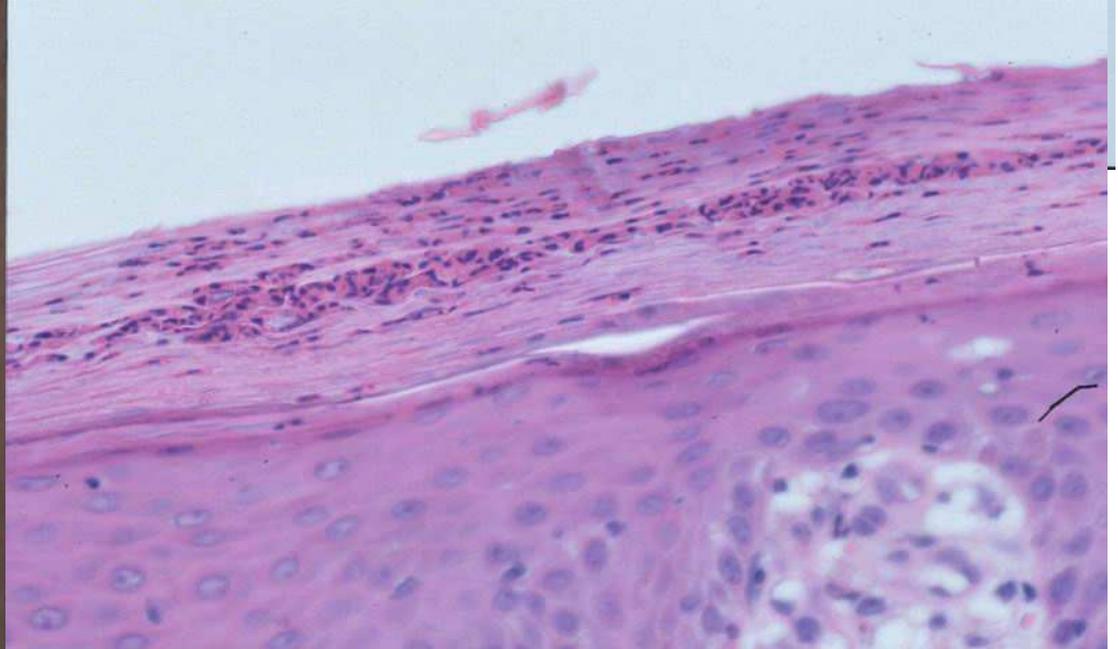
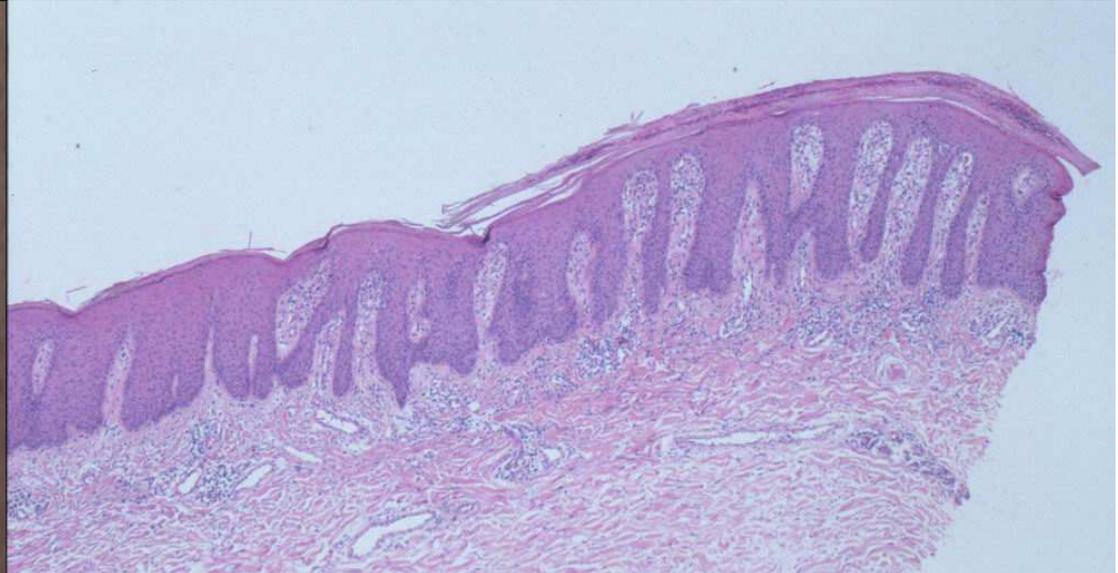
# 局面 (脂漏性角化症)



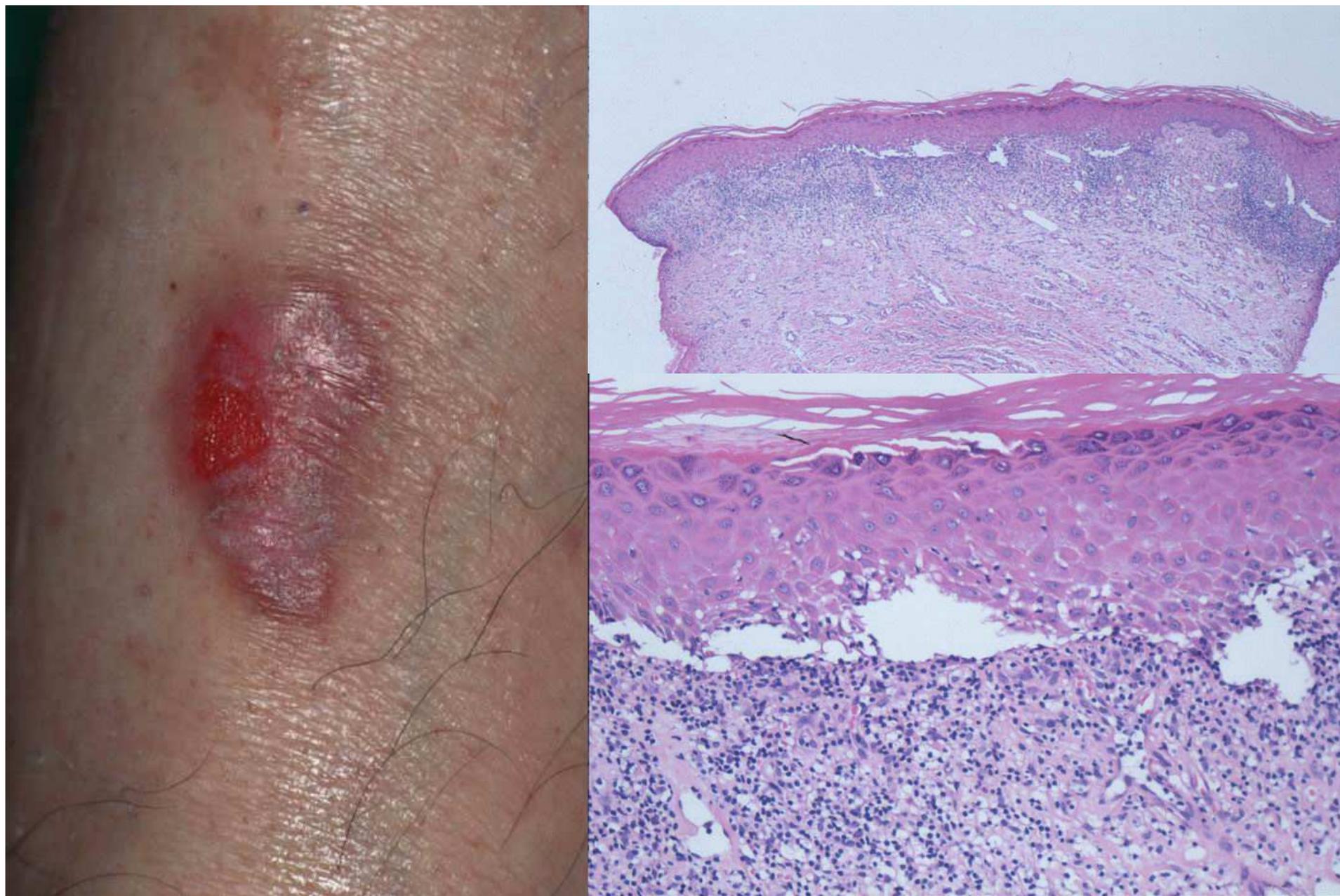
## 局面(脂腺母斑)



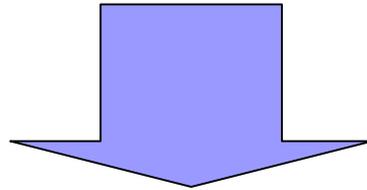
# 局面(乾癬)



# 局面(扁平苔癬)



# マクロ：局面



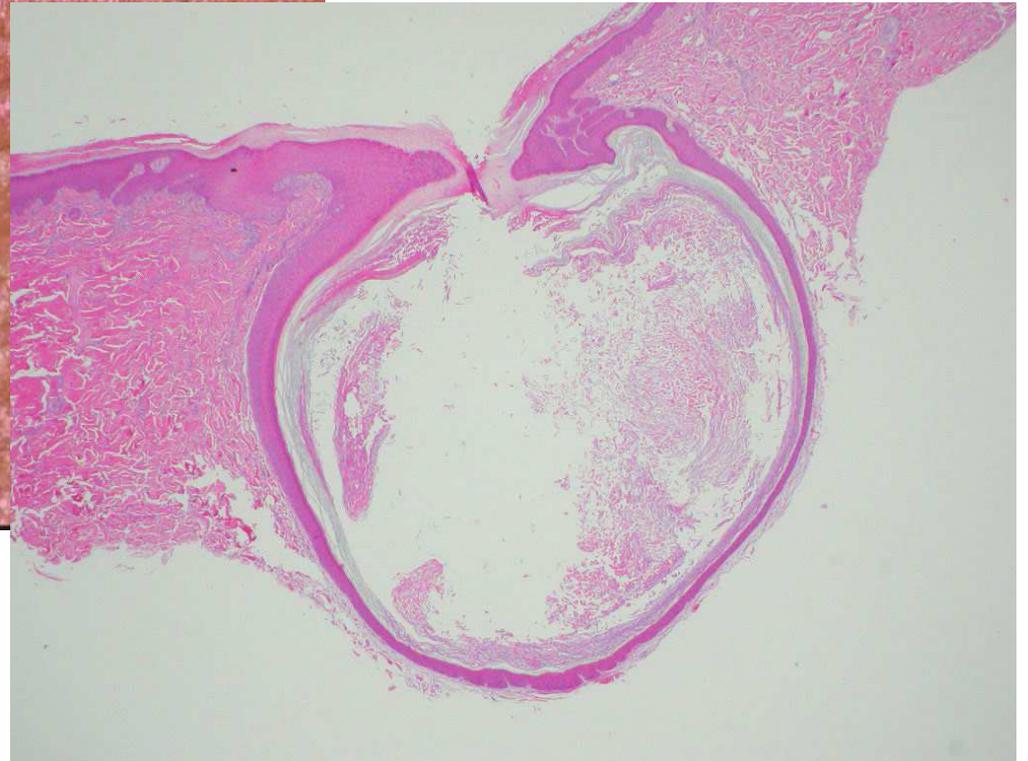
- 炎症と腫瘍病変に分けられる
- 炎症では、真皮浅層の広範な細胞浸潤のことが多い。乾癬、扁平苔癬、環状類乾癬(菌状息肉症)、など疾患に限られる。
- 腫瘍では、表皮病変のことが多い。例：脂漏性角化症

# 結節、腫瘍

ドーム状あるいは半球状に隆起し、非水疱性で1cm以上の病変、腫瘍は同様の形態で2cm以上のものをいう。

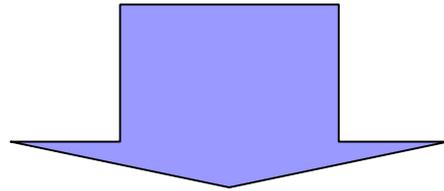
多くは腫瘍性変化である

# 結節 (粉瘤)



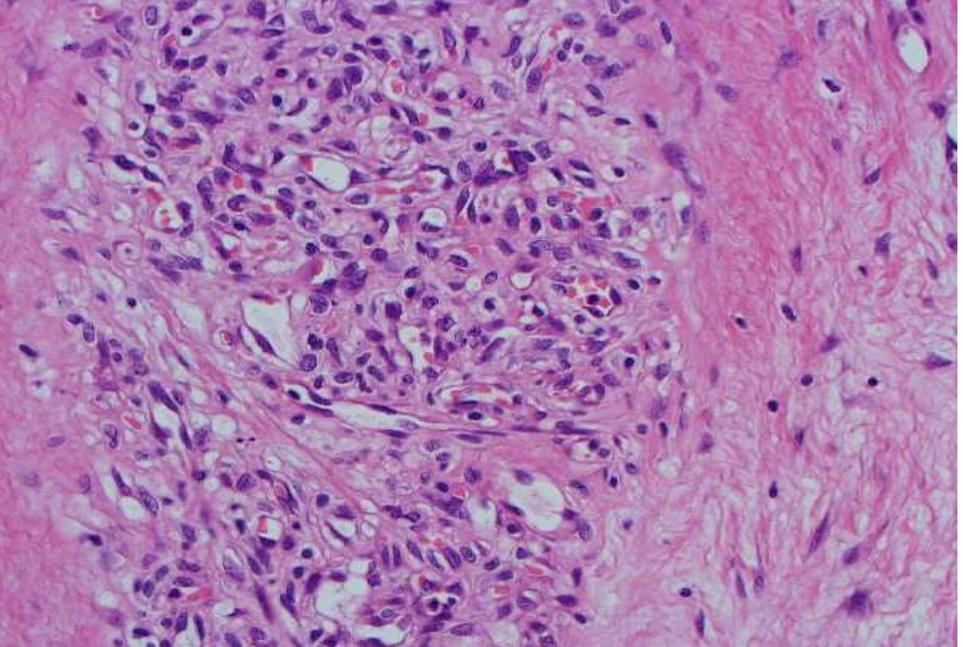
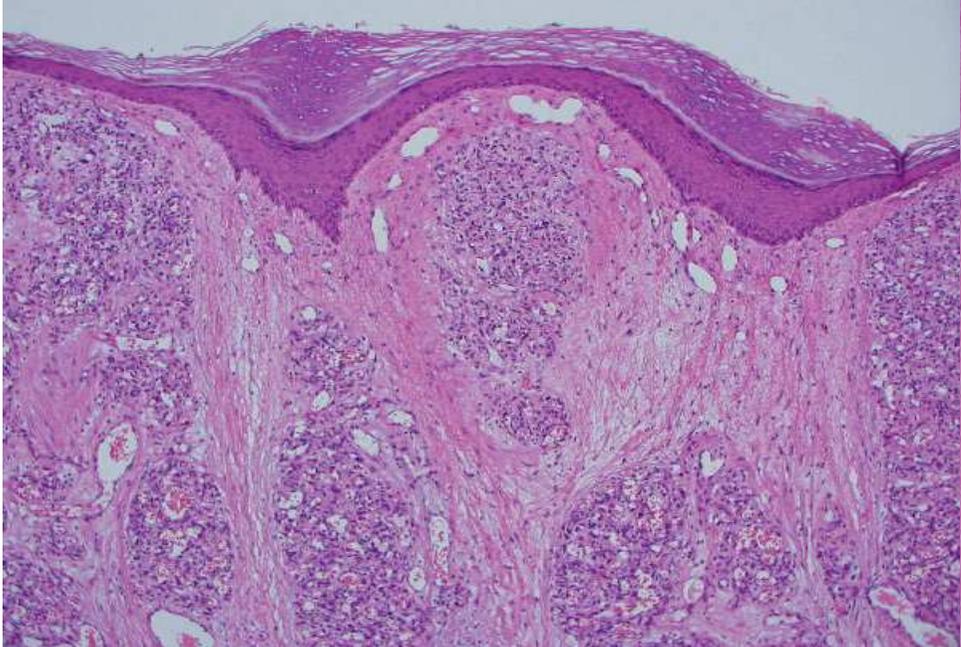
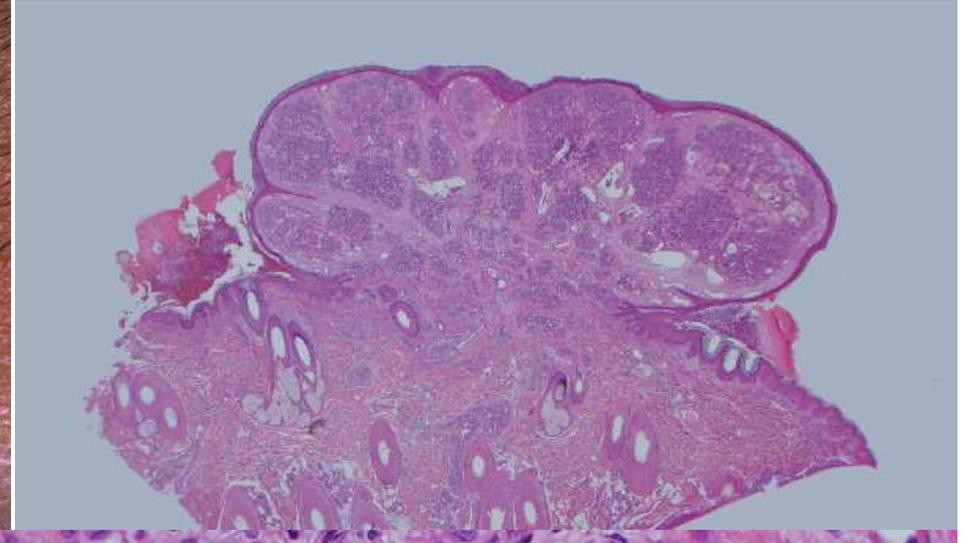


マクロ：結節(ドーム状～半球状隆起)

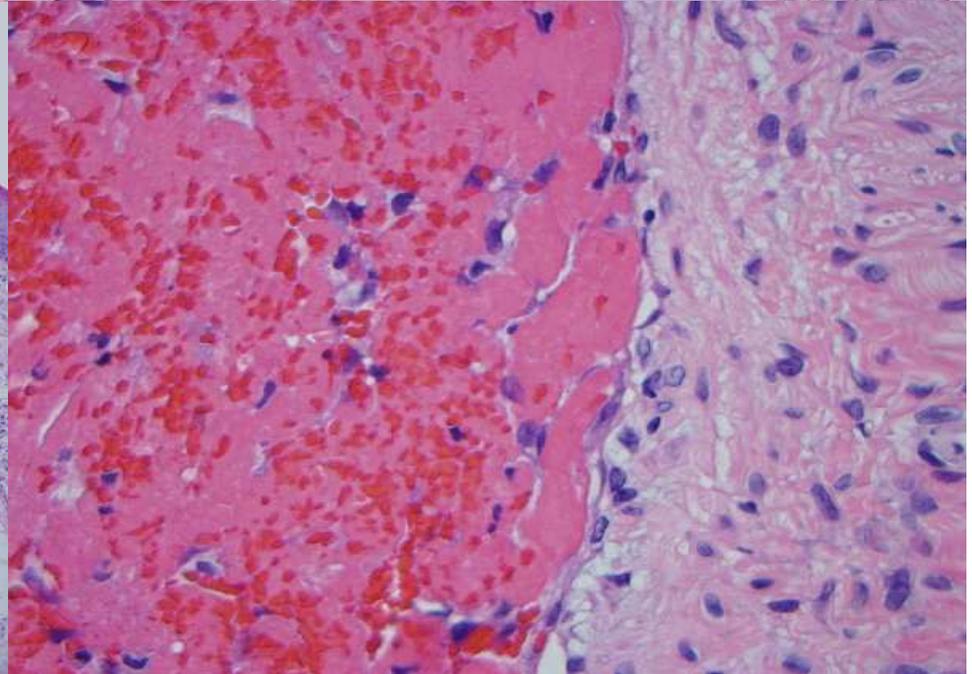
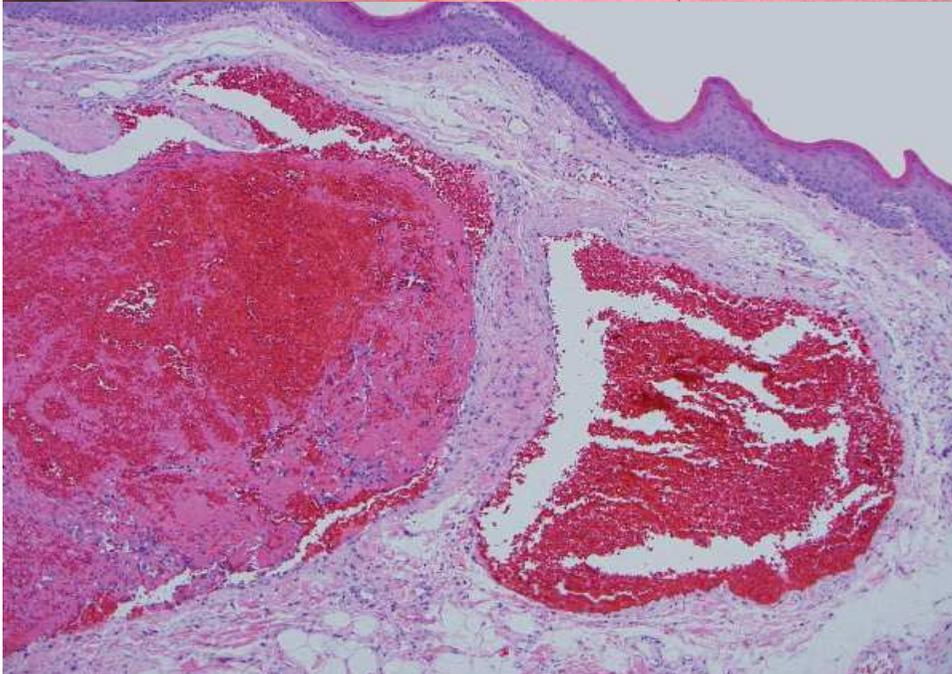
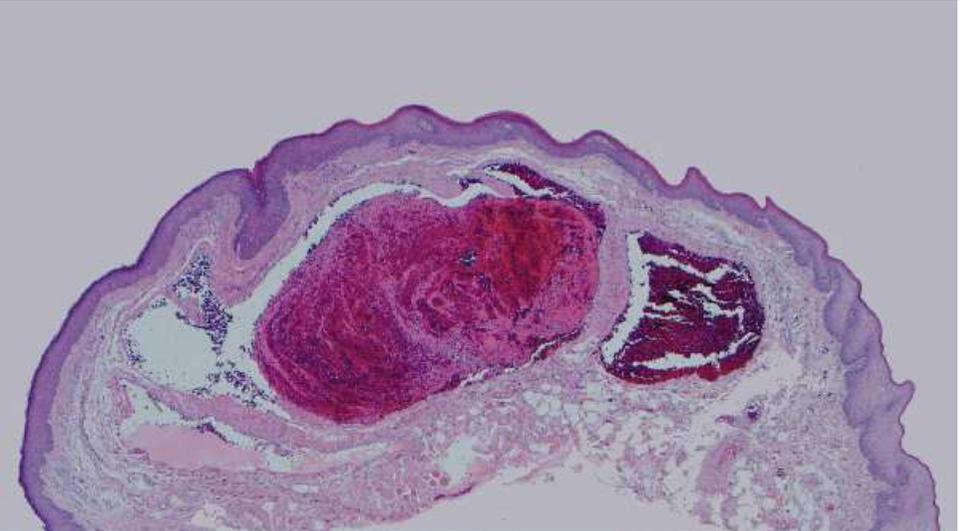


真皮浅層の腫瘍病変

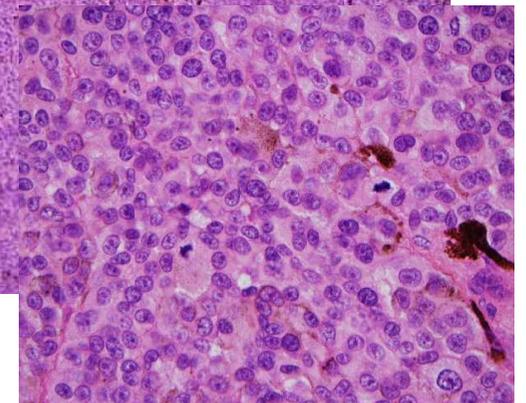
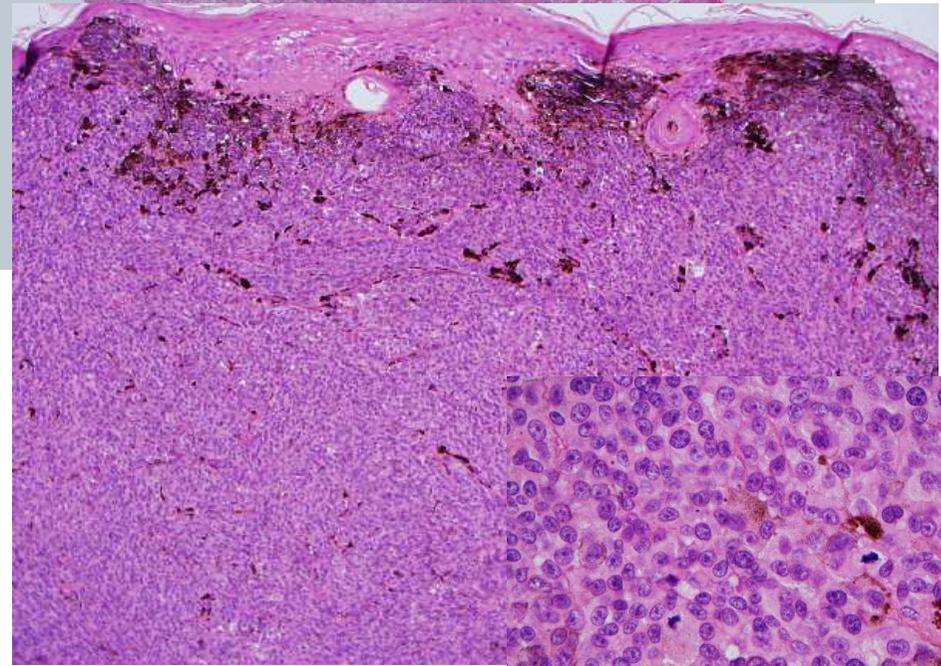
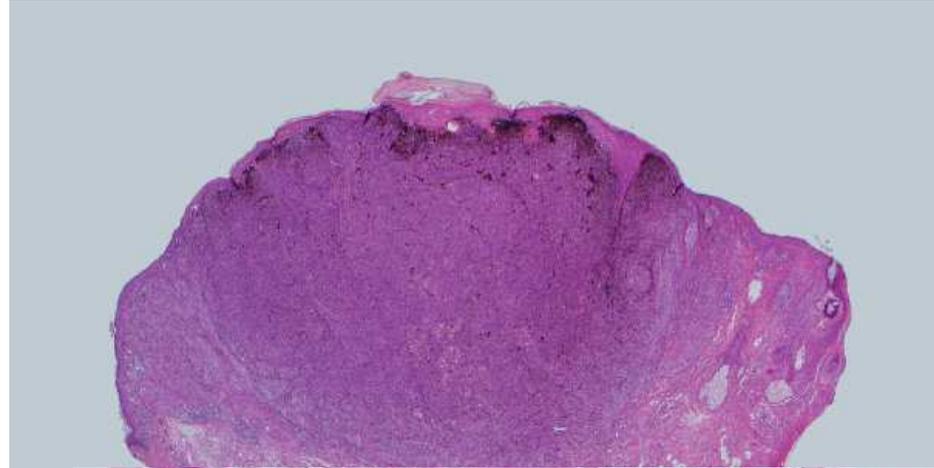
# 結節 (血管擴張性肉芽腫)

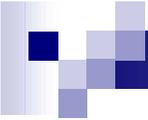


# 腫瘍(莓状血管腫)

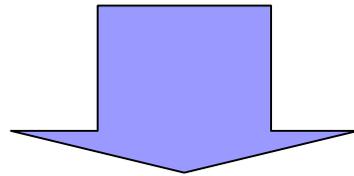


# 腫瘍(悪性黒色腫)



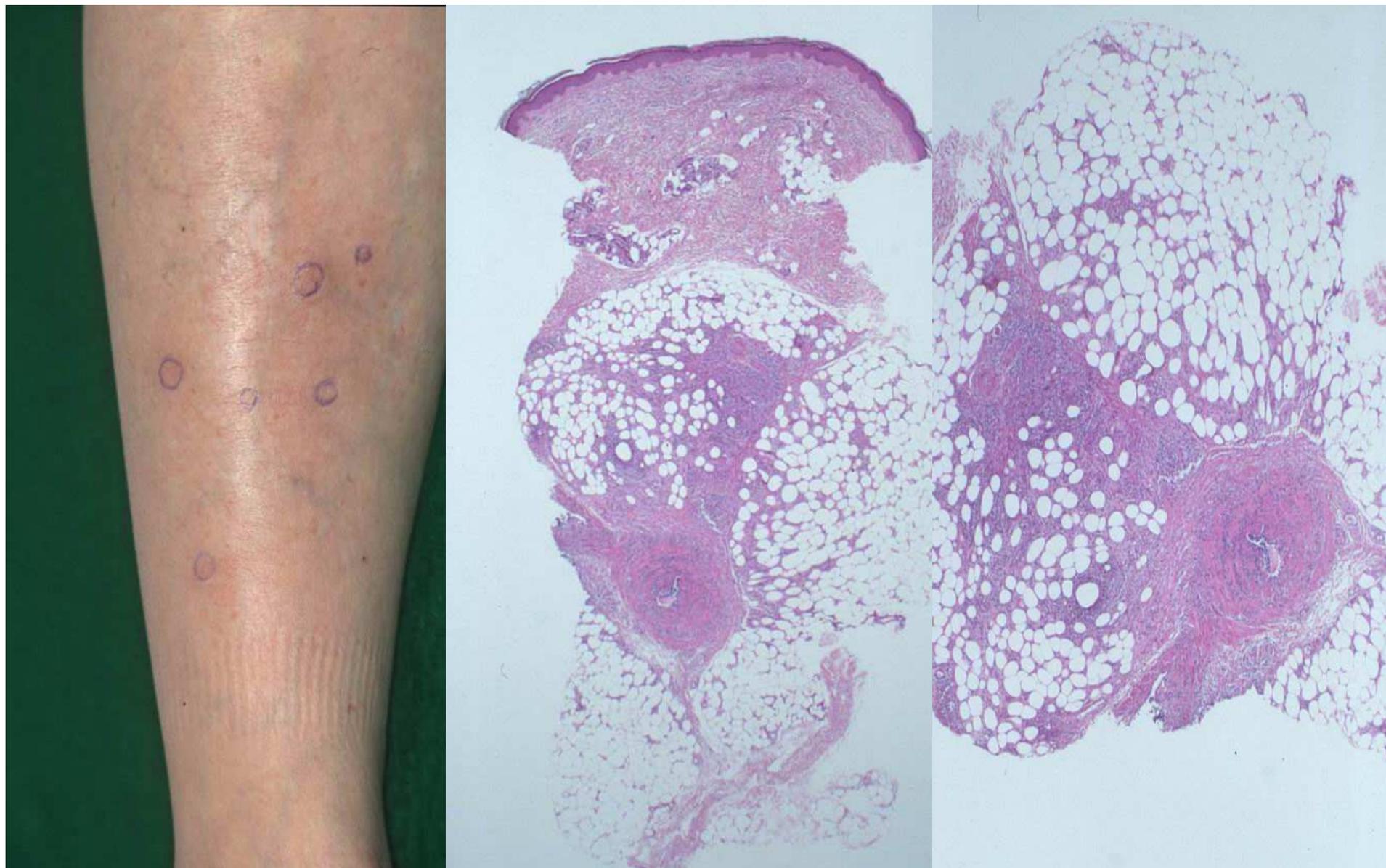


マクロ：皮内結節（浸潤を触れる）



- 真皮深層～皮下の腫瘍病変 or 脂肪織炎

## 皮下結節 (結節性紅斑)



# 小水疱

径1cm以下の水疱。水疱の内容容は通常血清であることが多いが、血性(血疱) であることもある。

表皮内 表皮下 その双方に形

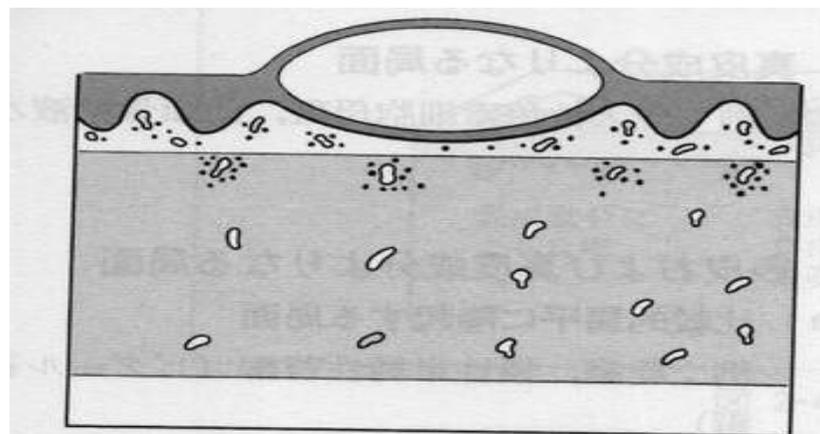
# 水疱

径1cm以上の水疱。

表皮内、表皮下、その双方に形成される。

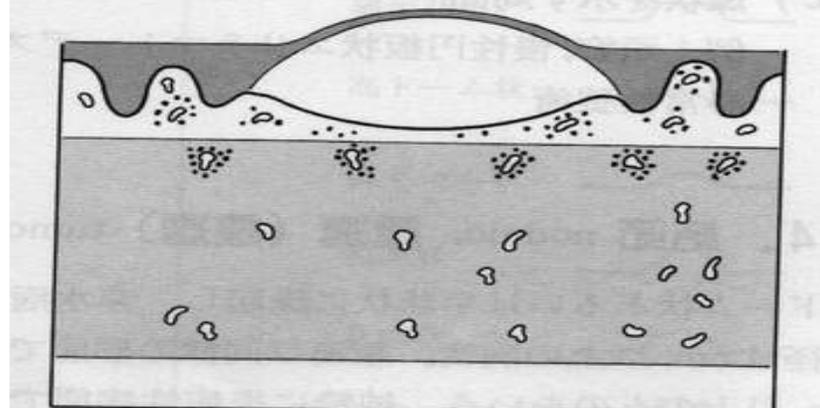
# 水疱の形成部位

表皮内水疱

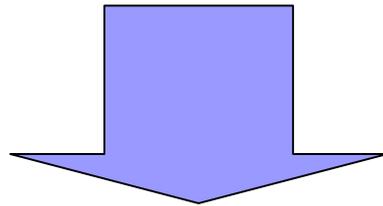


表皮内水疱

表皮下水疱



# マクロ：水疱



表皮内あるいは表皮下の液体貯留

# 表皮内水疱の形成機序

海綿状態によるもの

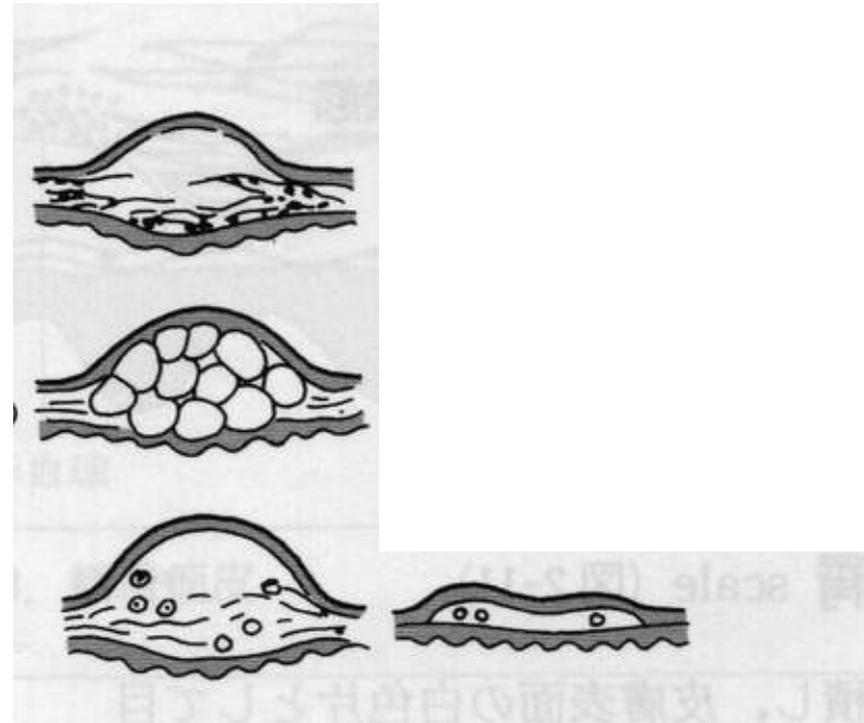
湿疹、皮膚炎

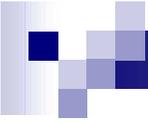
風船変性によるもの

ウイルス性疾患

棘融解によるもの

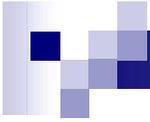
ダリエー病、ヘイリー・ヘイリー病など





# 表皮内水疱

- 海綿状態            湿疹、皮膚炎
- 風船変性           ウイルス性発疹症
- 棘融解            尋常性、紅斑性、落葉性天疱瘡

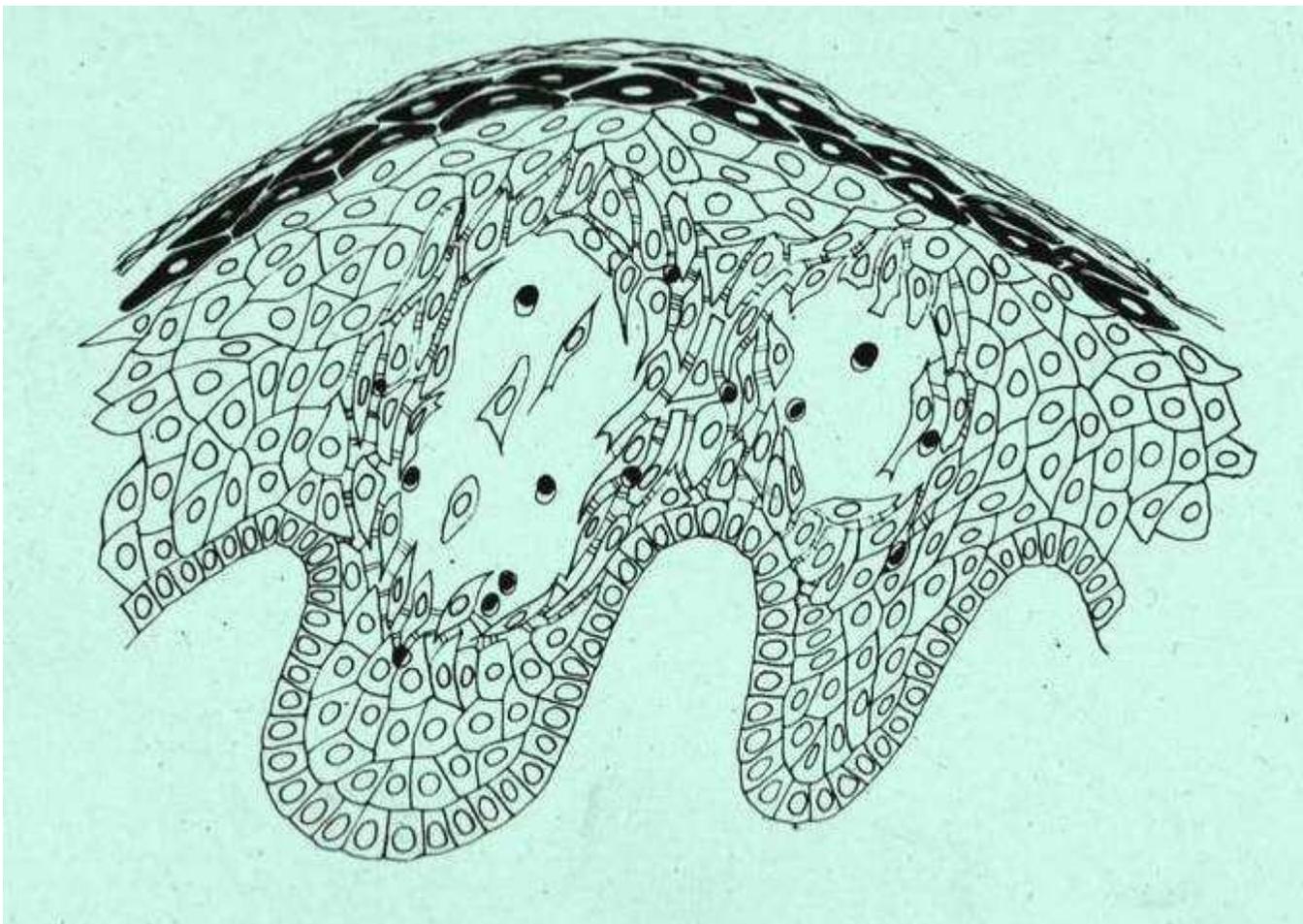


# 海綿状態

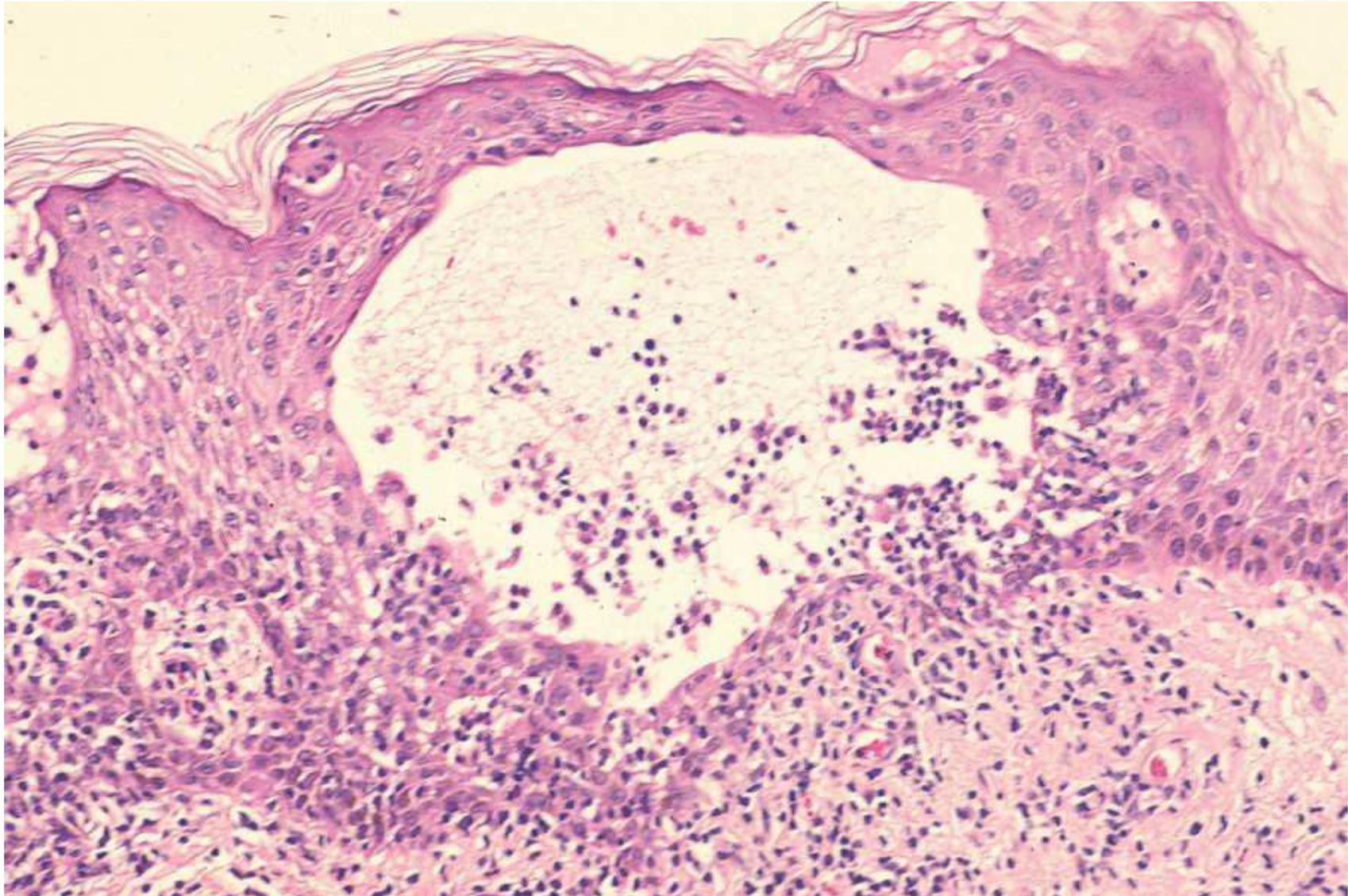
- 表皮細胞間浮腫のこと
- 表皮に炎症があることを意味する
- 湿疹、皮膚炎群の特徴的に所見
- 海綿状態が強いと、表皮内水疱を形成する

# 海綿狀態 (spongiosis)

## 表皮細胞間浮腫



## 海綿状態による表皮内水疱



# 接觸皮膚 炎



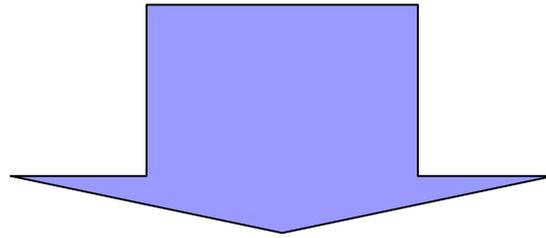
貨幣状(皮脂欠乏性)湿疹



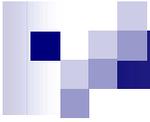
湿布によるかぶれ



# マクロ：小水疱の集簇



海綿状態(湿疹、皮膚炎)を考える



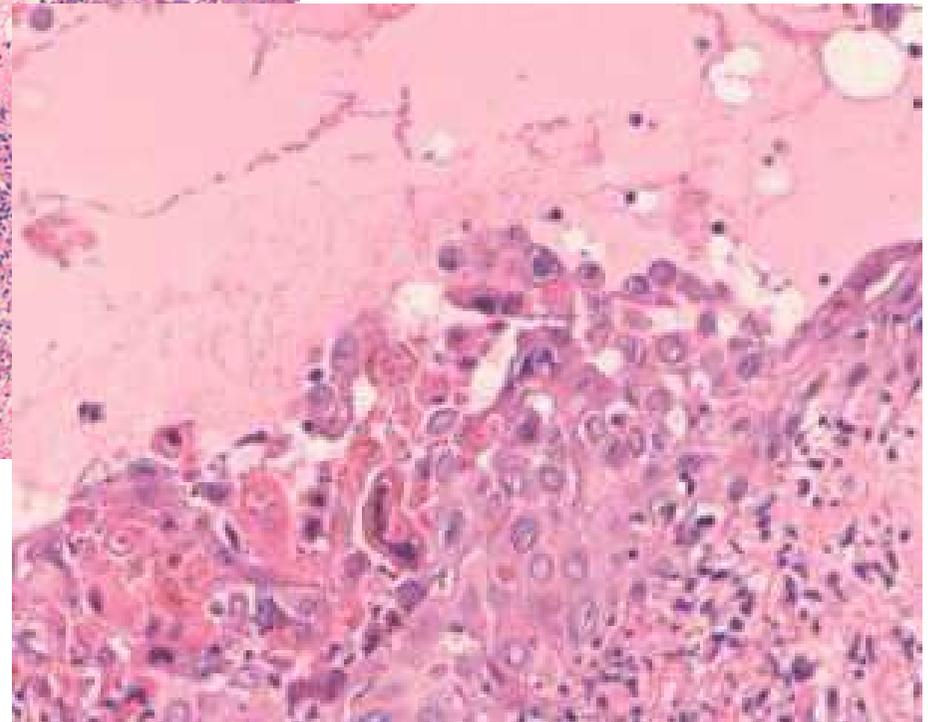
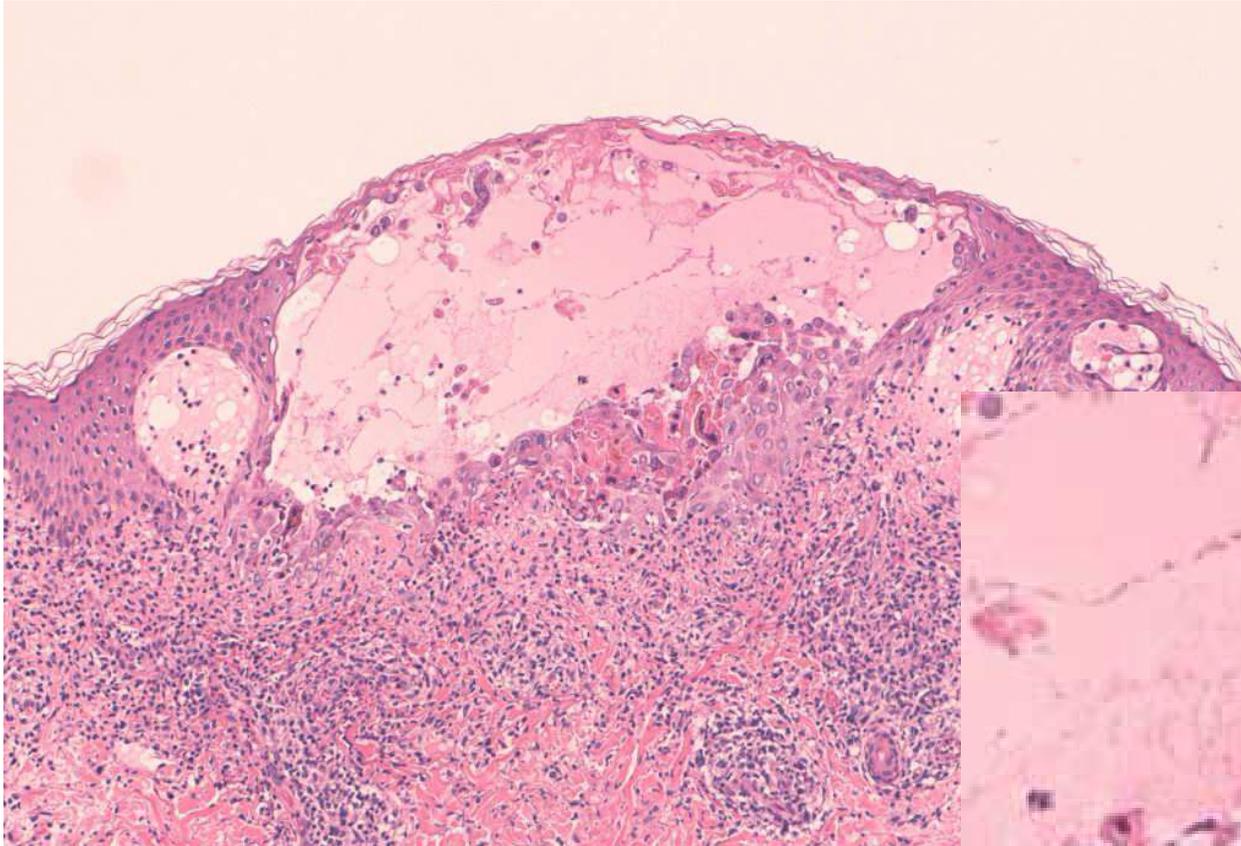
# 風船変性(ballooning degeneration)

- 変性、膨化した表皮細胞であり、ウィルス感染を示唆する。
- 進行すると、網状変性とよばれる表皮内多房性水疱を形成する。
- 例：ヘルペスウィルス感染症

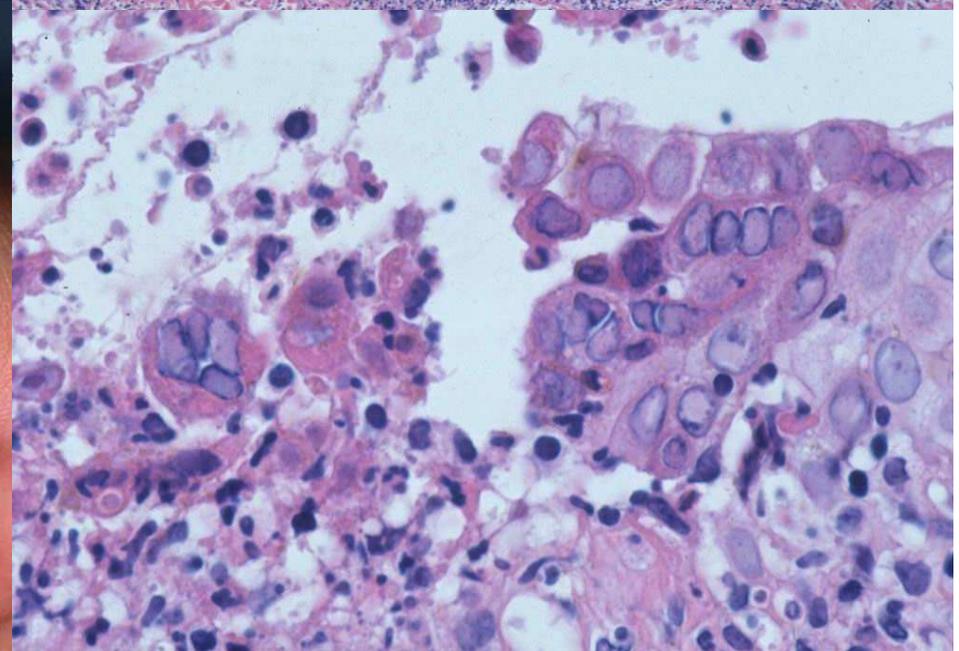
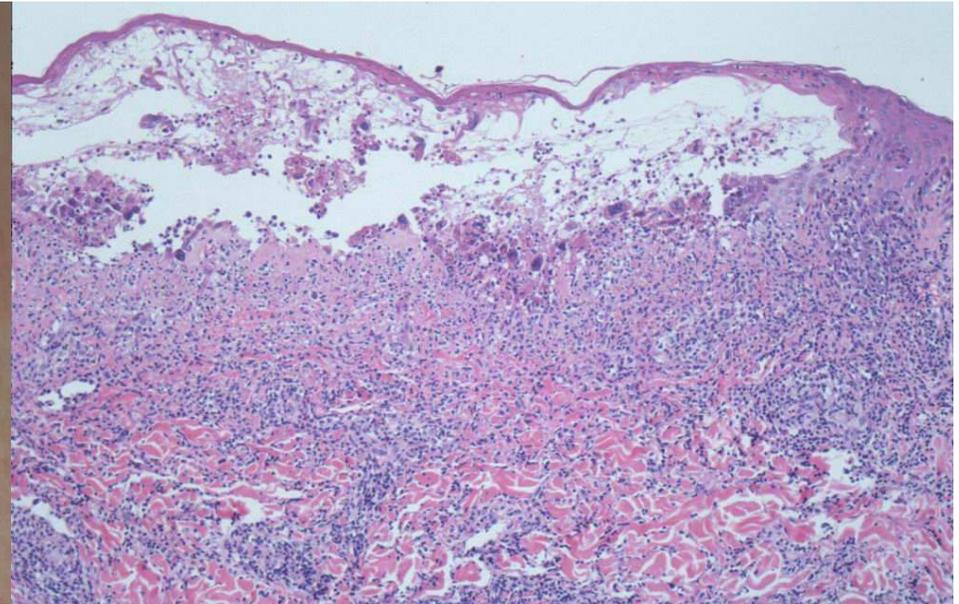
# 带状疱疹



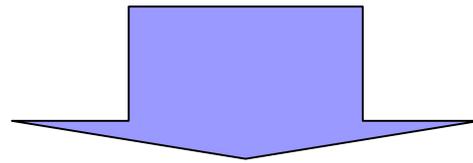
# 風船変性による表内水疱



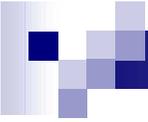
# 単純疱疹における表皮内水疱



■ マクロ：中央臍窩、痂皮あるいは壊  
死化する小水疱



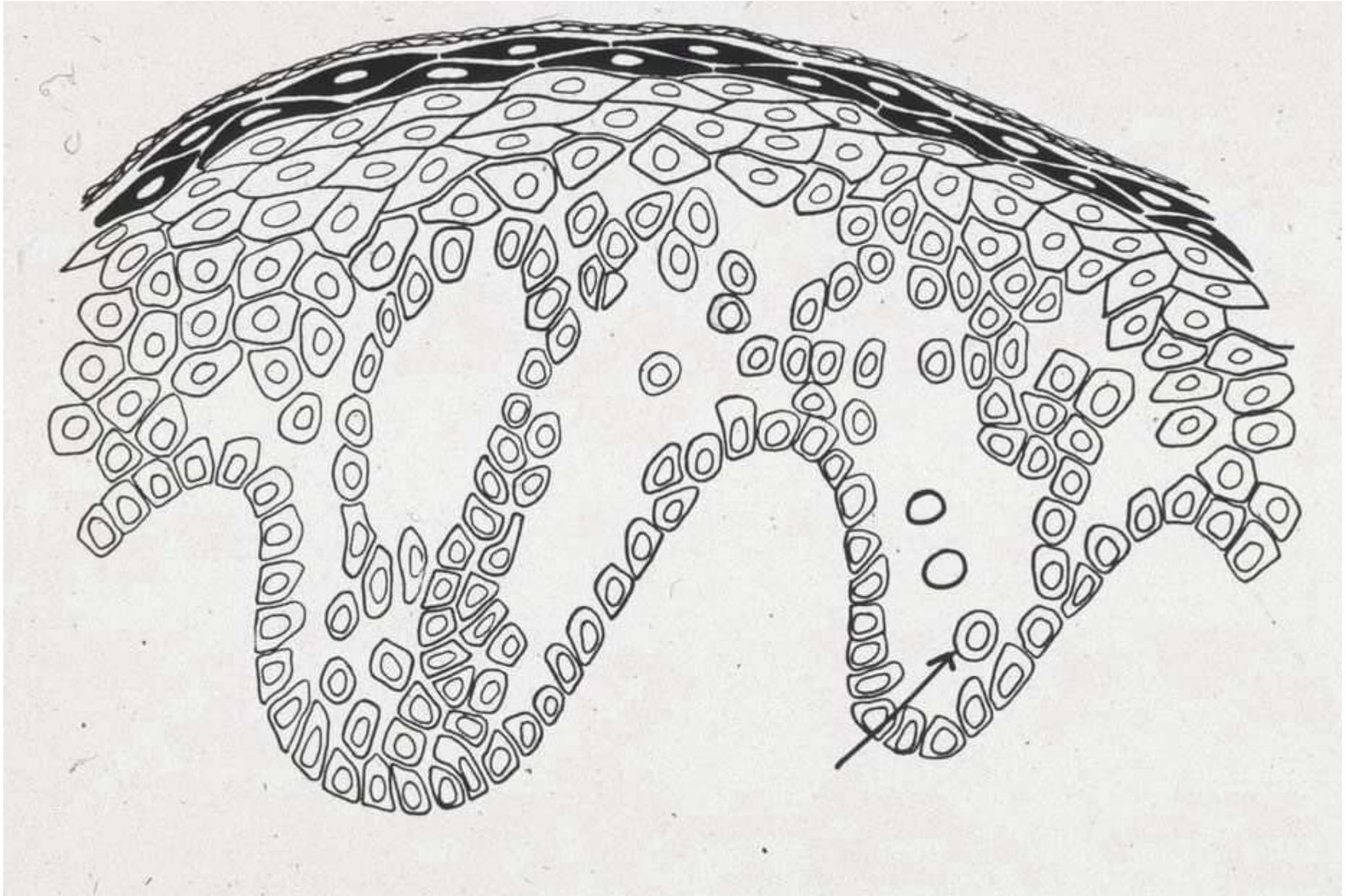
表皮の風船変性を考える



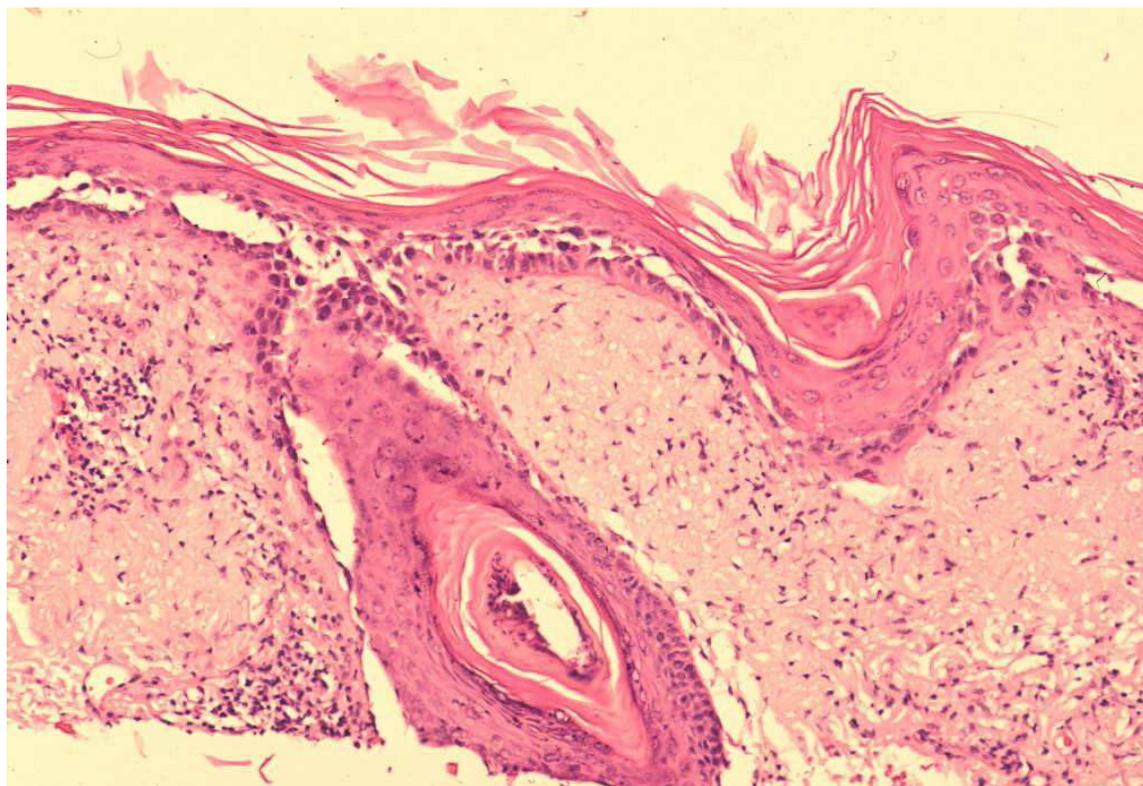
# 棘融解(acantholysis)

- 角化細胞間接着の消失により細胞が開離する。
- 結果として分離球状となった細胞を棘融解細胞(acantholytic cell)と呼ぶ。
- 例：尋常性天疱瘡、良性家族性慢性天疱瘡、ダリエー病

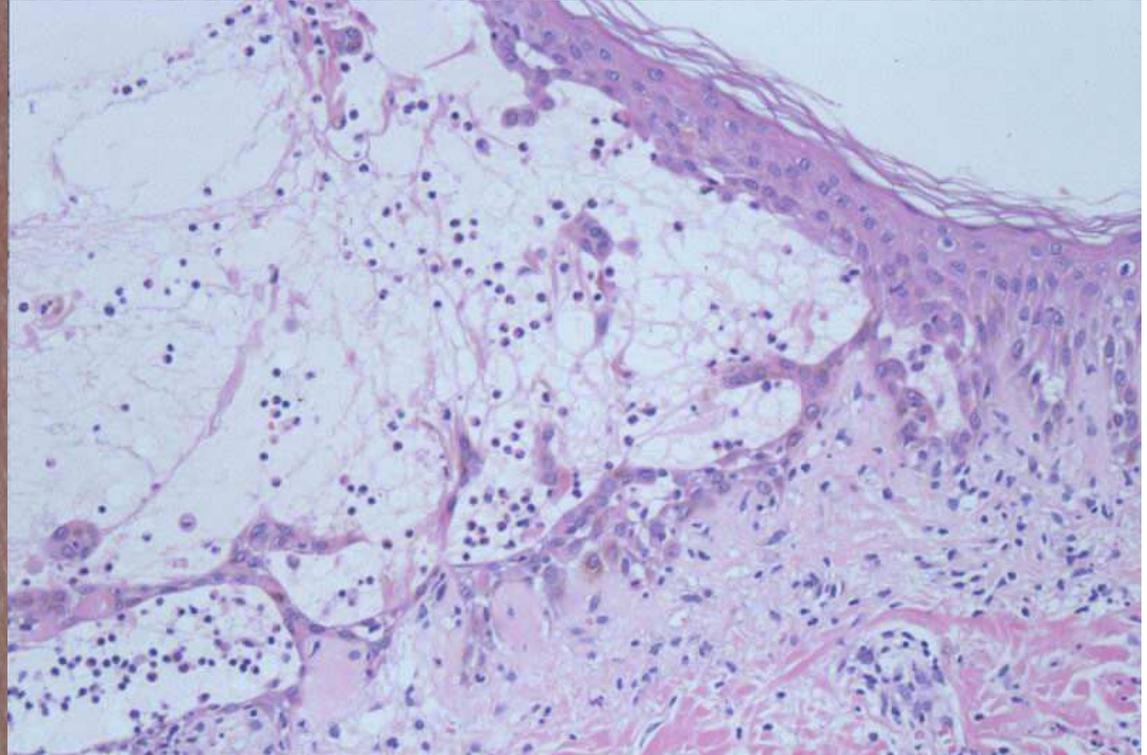
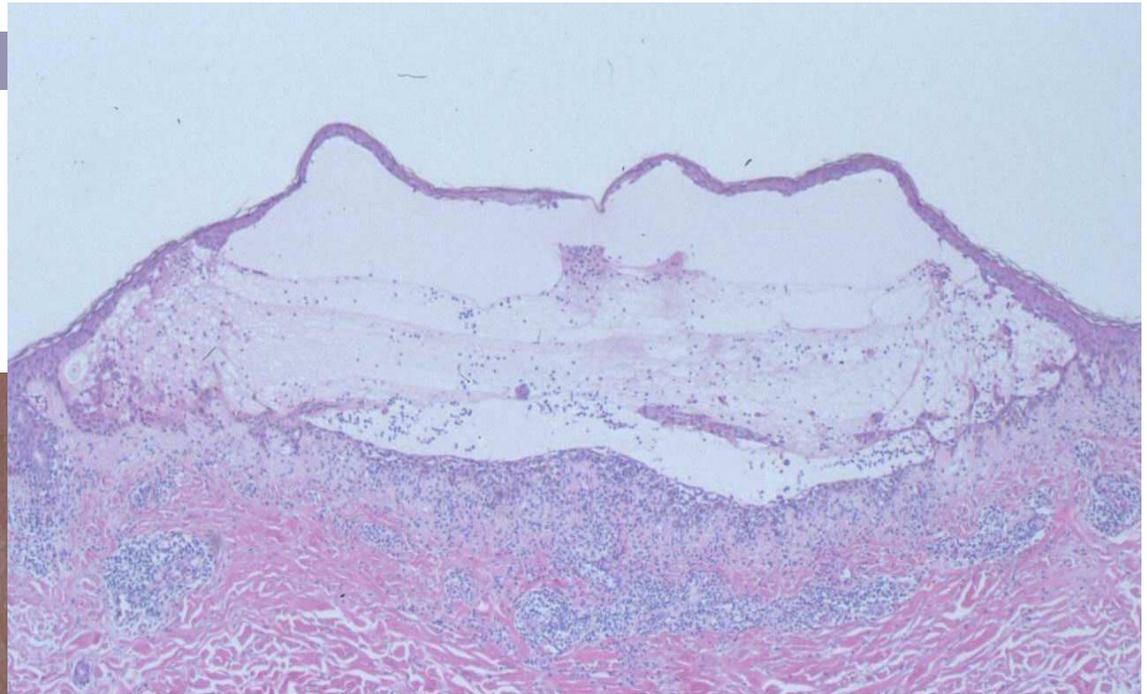
# 棘融解(acantholysis)



## 棘融解(ヘイリー・ヘイリー病)



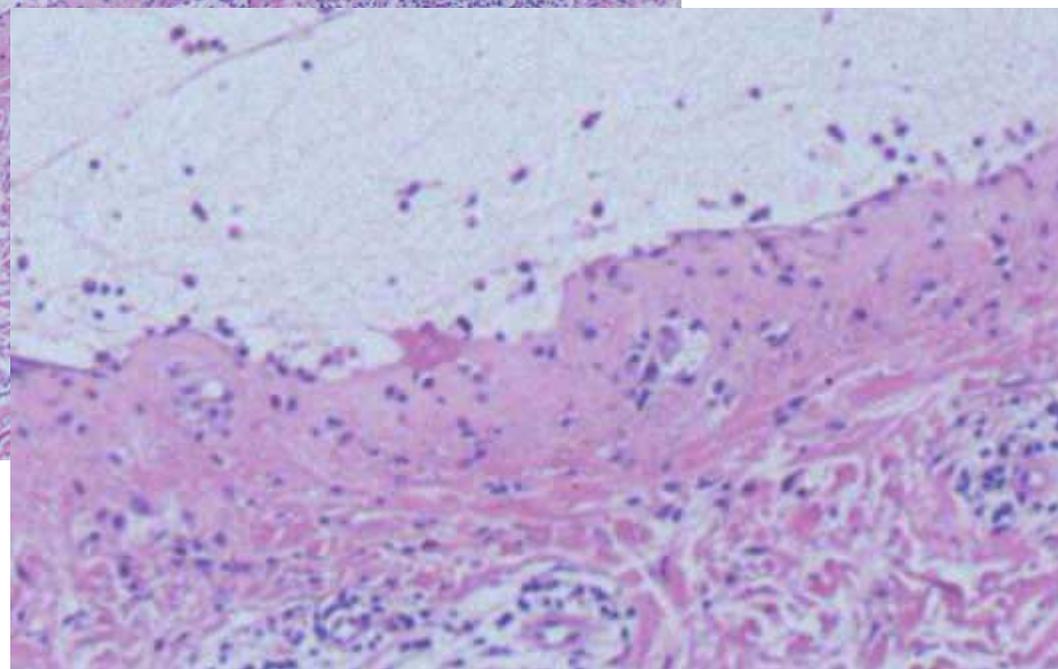
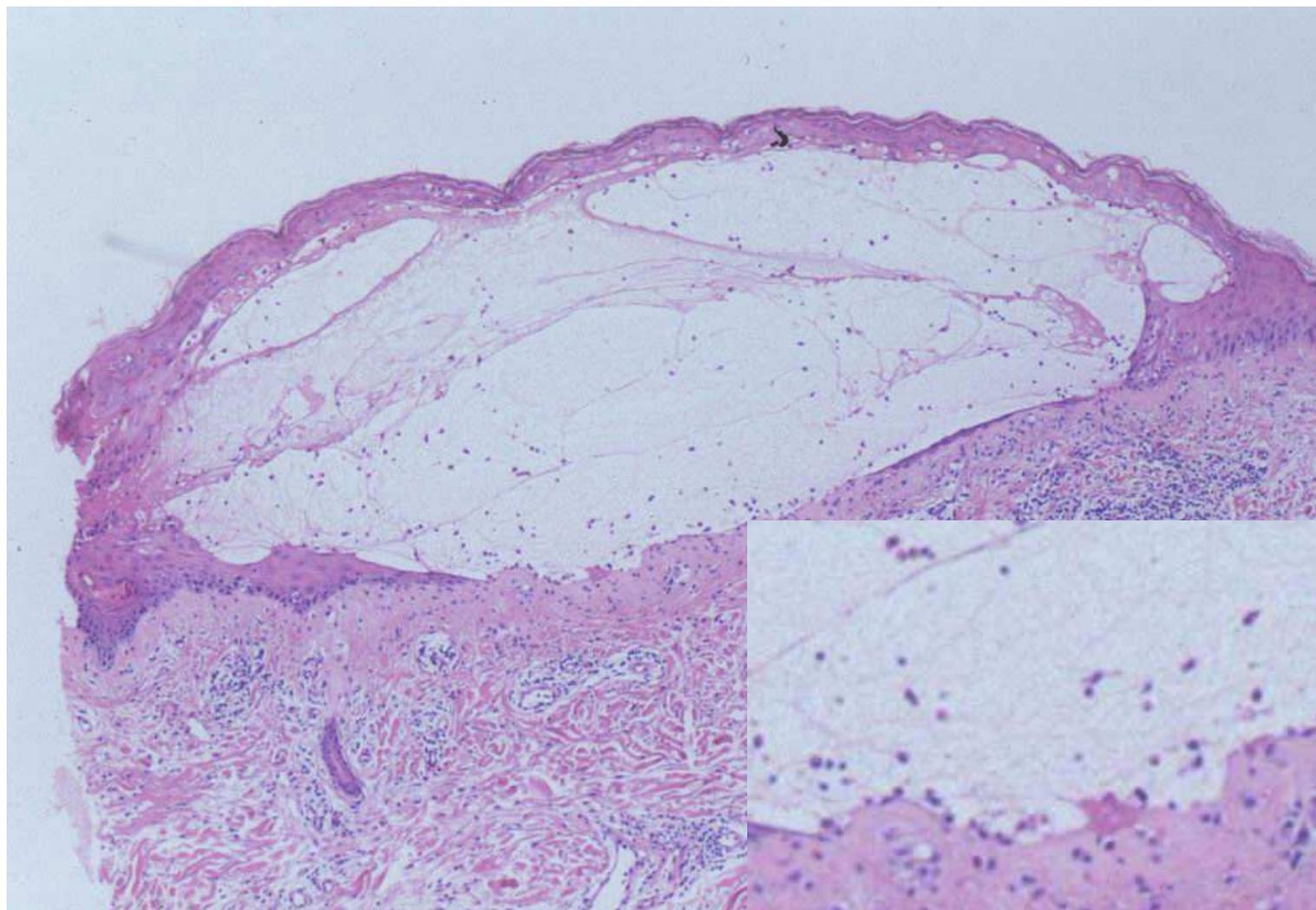
棘融解による表皮内  
水疱  
(尋常性天疱瘡)



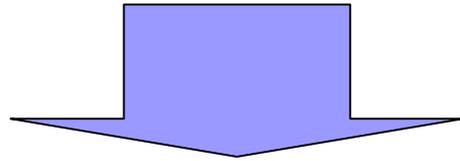
# 表皮下水疱(類天疱瘡)



## 表皮下水疱(類天疱瘡)

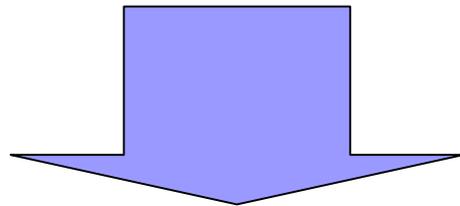


# マクロ：緊満性水疱



- 表皮下水疱を考える。
- 例：熱傷、類天疱瘡、先天性表皮水疱症、疱疹状皮膚炎、線状IgA皮膚症など

# マクロ：弛緩性水疱（ビランし易い）

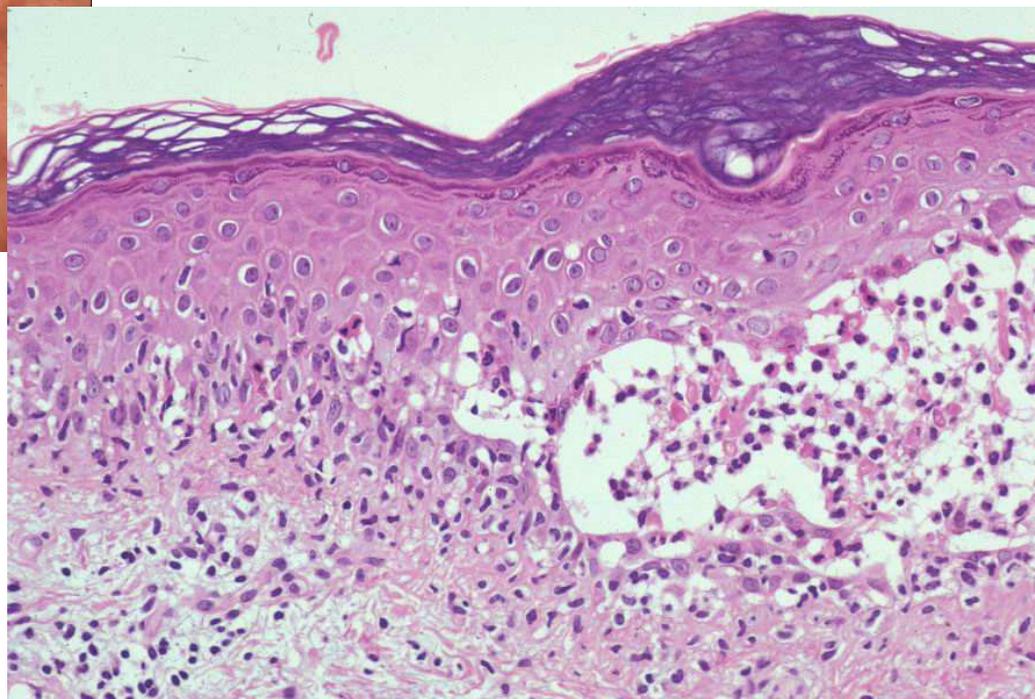


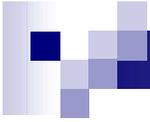
- 表皮内水疱を考える
- 例：天疱瘡群（尋常性、紅斑性、落葉性）、伝染性膿痂疹、ヘイリー・ヘイリー病など

# 液状変性、空胞状変性 (liquefaction degeneration)

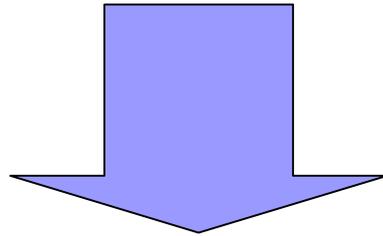
- 表皮真皮境界部が空胞状に変性し、不明瞭に観察されること。
- 表皮真皮境界部を炎症の主体とした病態であることを意味する。
- 高度になると表皮下裂隙や表皮下水疱を形成することがある。
- 例：多形紅斑、扁平苔癬、エリテマトーデス

## 液状变性(多形渗出性红斑)





マクロ：紅斑内に水疱がみられる

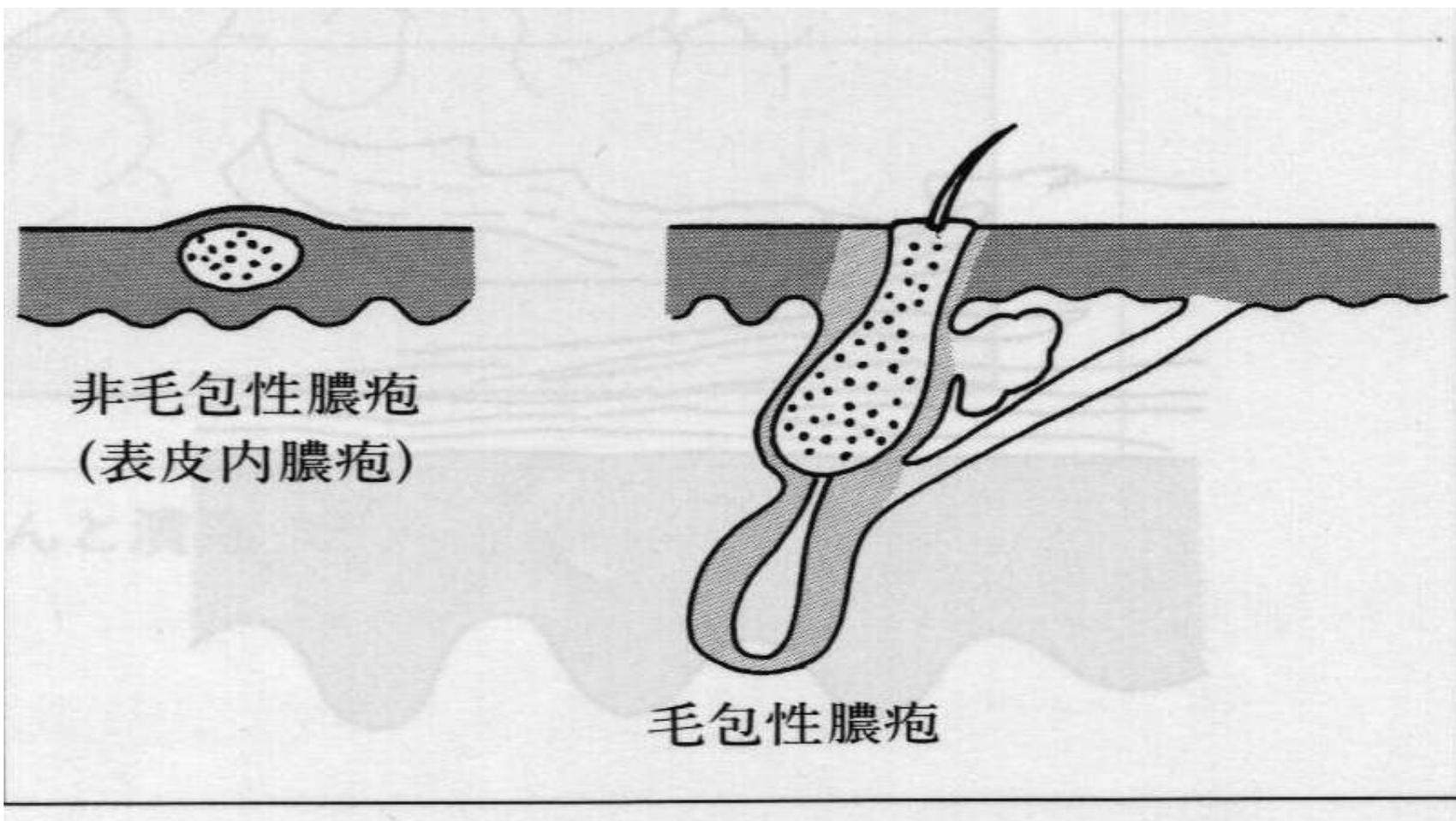


- 液状変性を考える
- 例：多形紅斑、水疱型扁平苔癬、薬疹など

# 膿疱

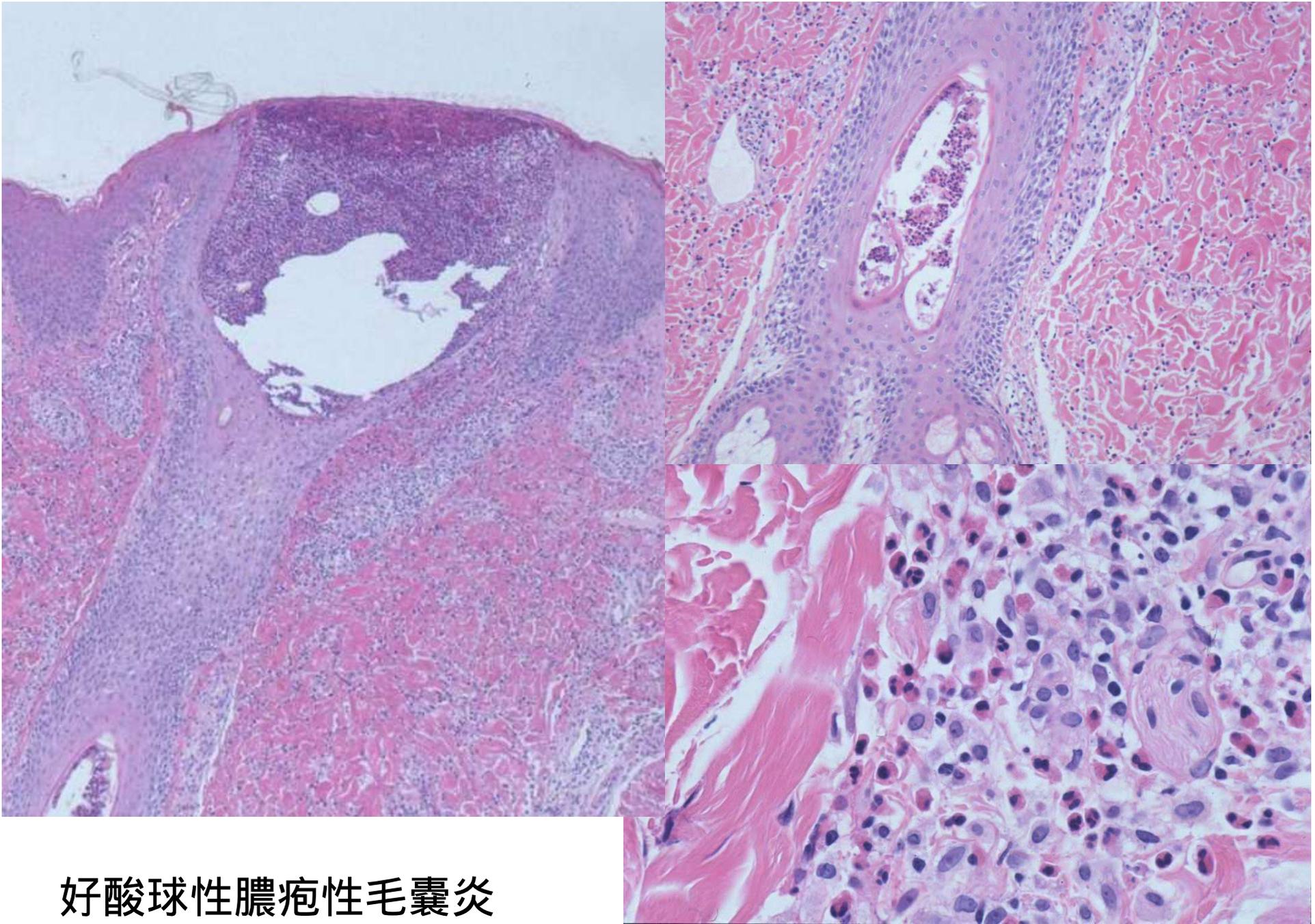
水疱の内容物が膿性のもの、膿疱は一般に毛包一致性に生じ、細菌が関与していることが多い。毛包に関係なく生じる膿疱は無菌性であることがほとんどであ

# 膿疱(毛包性、非毛包性)



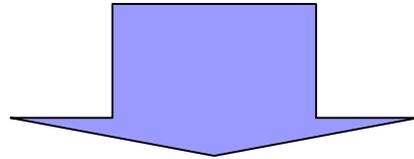
# 膿疱(座瘡、にきび)





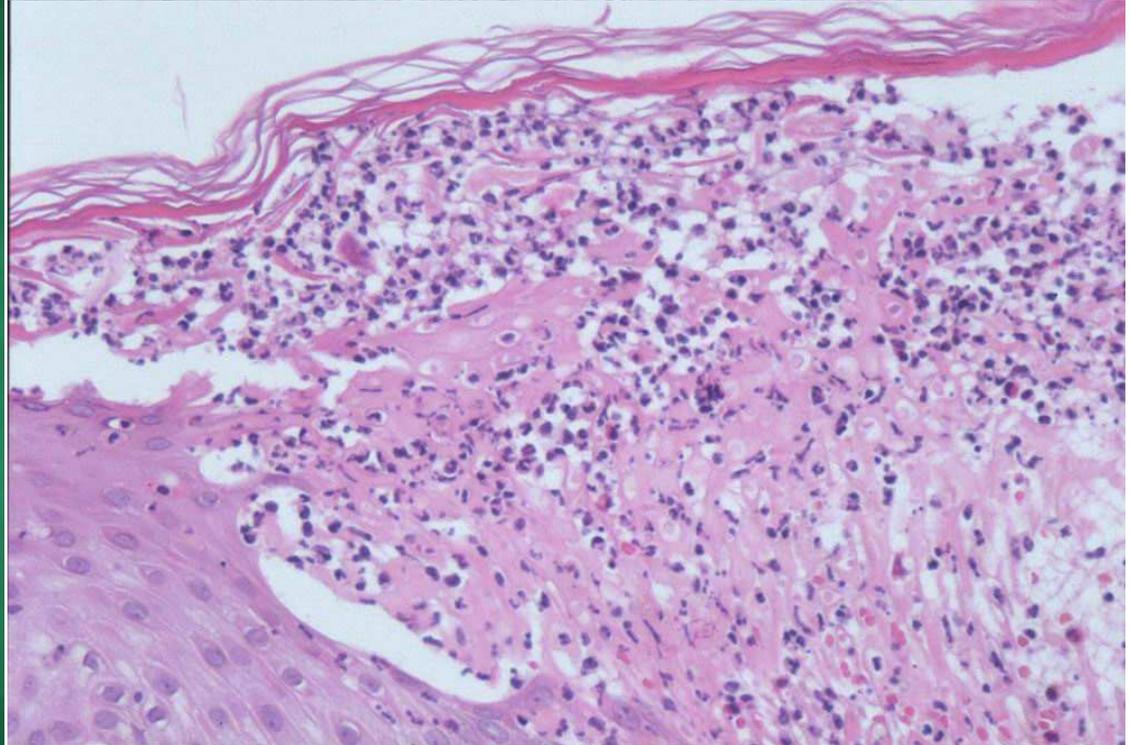
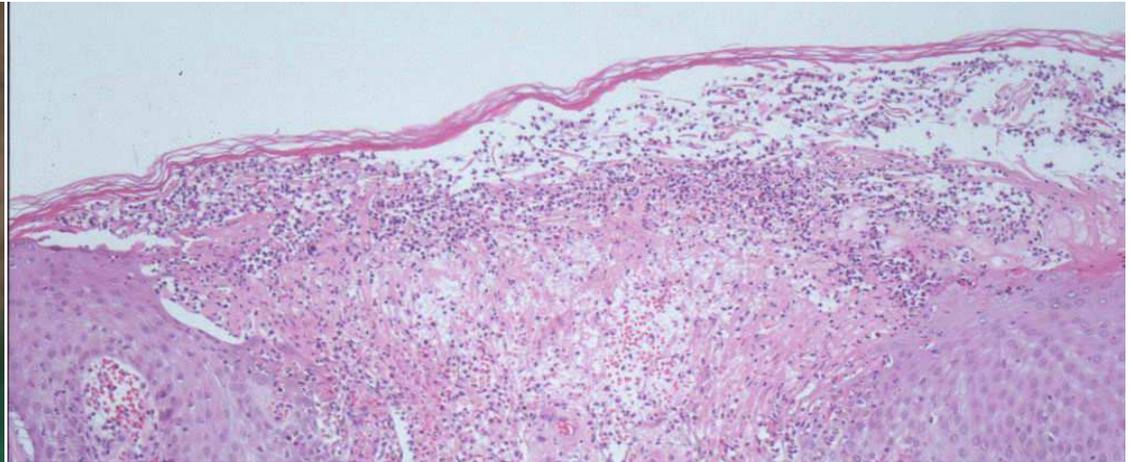
好酸球性膿疱性毛囊炎

# マクロ：膿疱（毛孔一致性）

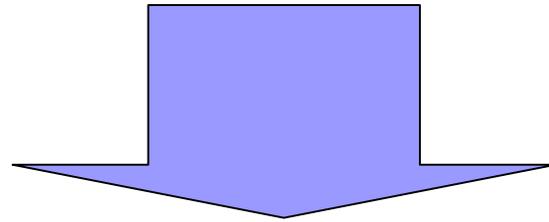


- 毛包開口部～毛包周囲の好中球の集簇

## 角層下膿疱(膿痂疹)



# マクロ：膿疱（毛包非一致性）



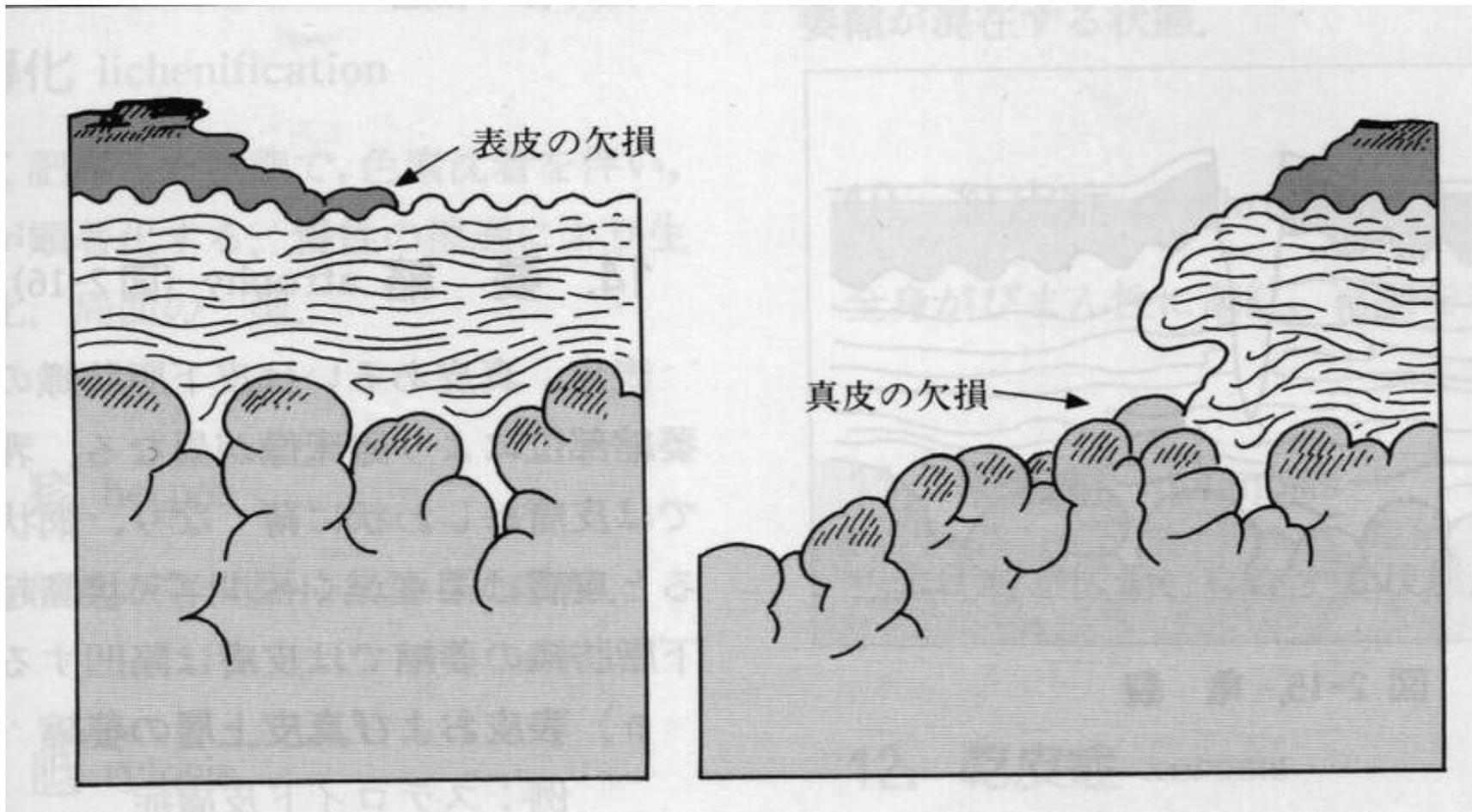
- 角層下膿疱を考える
- 例：掌蹠膿疱症、伝染性膿痂疹、膿痂疹様皮膚炎、膿疱性乾癬、

# びらん、潰瘍

びらん：表皮の一部～全部の欠損

潰瘍：真皮に及ぶ皮膚の欠損

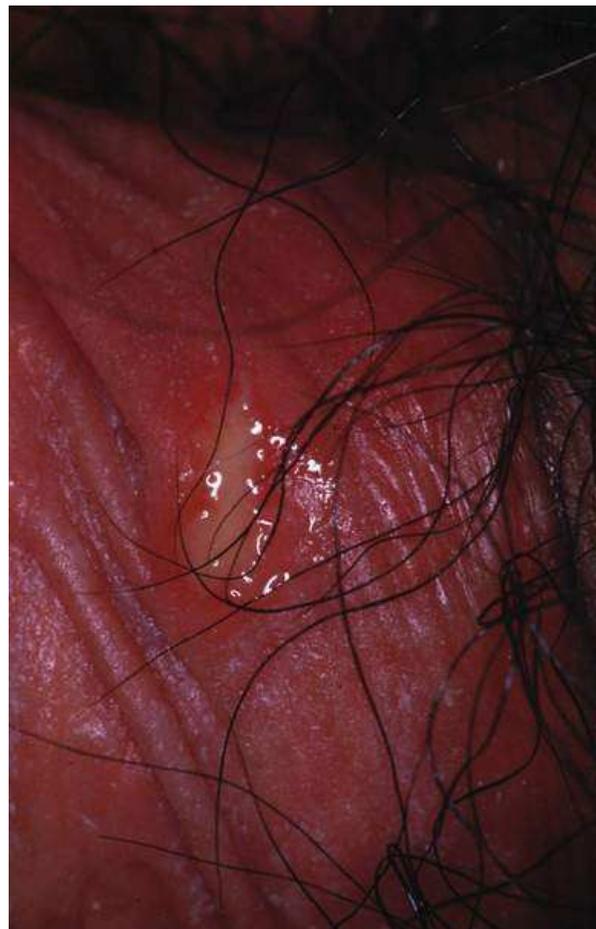
# びらんと潰瘍の違い



# びらんと潰瘍

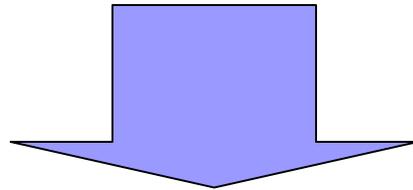


# びらんと潰瘍





# マクロ:びらん～潰瘍



- 表皮の欠損、潰瘍は真皮まで及ぶ

# 虫(マダニ咬症)

